

## お施主様向け取扱説明書

# ソレイド テラスタイプ ソレイド テラス囲いタイプ

本商品を長く安全にご使用いただくために、正しい操作方法・適切なお手入れ方法・使用上の注意点・商品保証などを掲載しています。  
説明をよくお読みいただき、お買い上げ日の記載された領収書などとともに大切に保管してください。

お施主様用  
建物管理者様用

保存版

### 販売店・工務店・建築会社の皆様へ

この説明書は施工完了後、お施主様・建物管理者様へお渡してください。

本書の読み方  
もくじ

第1章  
安全にお使い  
いただくために

第2章 テラス  
タイプ  
使い方

テラス  
囲い  
タイプ

第3章 テラス  
タイプ  
お手入れ

テラス  
囲い  
タイプ

第4章  
困った時には

第5章  
保守点検

第6章  
保証について

# 商品取扱説明書について

このたびは 本商品をお買い上げいただきありがとうございます。

本書は、商品の取り扱いに関する必要事項を説明しています。

商品を安全に長くお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください。

# 本書の読み方

## 本書内の表示

本書では、下記の表示を用いて、人身事故や損害を未然に防ぐために守っていただきたい内容を示しています。内容を十分ご理解のうえ、指示を守って商品をご使用ください。

### ■警告／注意／お願い

表 示	意 味
 <b>警告</b>	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
 <b>注意</b>	取り扱いを誤った場合、使用者が通院加療の必要な傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度
<b>お願い</b>	取り扱いを誤った場合、使用者が通院加療の必要のない程度の障害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

### ■記号

記 号	意 味
 [強制]	「必ず行っていただきたいこと」を示します。
 [禁止]	「行ってはいけないこと」を示します。

本書の読み方	P.1
もくじ	P.2
<b>第1章 安全にお使いいただくために</b>	<b>P.3</b>
安全上のご注意	P.4
ご使用にあたって	P.12
知っていただきたい現象	P.13
<b>第2章 使い方</b>	<b>P.17</b>
テラスタイプ	P.18
テラス囲いタイプ	P.20
日除けカーテン	P.39
<b>第3章 お手入れ</b>	<b>P.41</b>
お手入れ時の注意事項	P.42
お手入れ方法	P.43
テラスタイプ	P.48
テラス囲いタイプ	P.50
<b>第4章 困った時には</b>	<b>P.91</b>
屋根ふき材・雨樋	P.92
掃出しサッシ（床）、高窓、ランマ引違い窓	P.93
スライド網戸	P.95
ドア	P.96
掃出しサッシ（土間）	P.98
日除けカーテン	P.100
アルミ製商品の腐食	P.101
<b>第5章 保守点検</b>	<b>P.103</b>
お手入れ・点検のポイント	P.104
保守点検項目	P.106
<b>第6章 保証について</b>	<b>P.109</b>
商品の保証について	P.110
ガラスの保証について	P.111

# 第1章 安全にお使いいただくために

この章では、商品を長く安全にお使いいただくために守っていただきたい注意事項について説明しています。

安全上のご注意	P.4
ご使用にあたって	P.12
知っていただきたい現象	P.13

# 安全上のご注意

商品を安全にご使用いただくために、必ず守っていただきたい事項です。  
個々の商品の注意事項は、各商品の説明ページにも記載されていますので、併せてご確認ください。

## ⚠ 注意

各商品のラベルに記載された積雪量を超える前に雪おろしをしてください。  
積雪量を超えた場合、雪の重みで商品が破損するおそれがありますので、  
商品の下に入らないでください。

また、ラベルに記載された積雪量は、新雪を想定したものです。雪の種類  
によって比重が大きくなる場合があります。下表の「雪おろしの目安」を参  
考に、早めに雪おろしをしてください。

### 【雪おろしの目安】

ラベル表示 (積雪量)	新雪	しまり雪 (雪の重みで硬く しまった雪)	ざらめ雪 (氷つぶのように ざらざらした雪)
		雪比重：0.3 1cm 当たり 約 3.0kgf/m <sup>2</sup>	雪比重：0.5 1cm 当たり 約 5.0kgf/m <sup>2</sup>
20cm	20cm	12cm	8cm
50cm	50cm	30cm	21cm



[強制]

商品にラベルがない、ラベルの文字が見えない場合は、お取り扱いの建築  
会社、工務店、販売店にお問い合わせください。



[禁止]

雪おろしの際には、下記の行為をしないでください。  
商品の破損や、転落など思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ・屋根の下に入る。
- ・屋根にはしごをかける。
- ・屋根に乗る。
- ・屋根に水をかける。



[禁止]

商品の制限荷重以上の重さをかけないでください。  
商品の破損や、転落など思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ・積雪が予想される場合、雪が降る前に、雪おろしの道具を準備してください。雪おろしの道具は、ホームセンターなどで購入できます。販売されている商品は地域によっても異なりますので、詳細は最寄のホームセンター、またはインターネットでご確認ください。

## 困り商品の注意事項

### ■窓（網戸）についての注意事項

#### ⚠️ 注意



【強制】

ご使用中、窓や網戸のはずれ止めがずれることがあります。時々点検し、正しくはずれ止めがセットされていることを確認してください。はずれ止めが正しくかかっていないと、窓や網戸がはずれて落下し、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

#### お願い

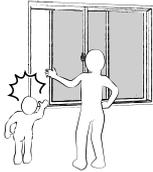
風の強い時は窓を閉め、必ずロックしてください。  
ロックしないと、風の力で窓が急に開閉し、その衝撃で破損や落下が起こり、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

- 窓に寄りかかるなど、荷重をかけないでください。  
窓の破損や落下によって思わぬけがや事故につながるおそれがあります。
- 網戸にぶつかったり、寄りかかったりしないでください。  
網戸がはずれ、破損や落下し、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。  
特にお子様にはご注意ください。
- 窓のそばを通る時は、開いている窓やハンドルにぶつからないようご注意ください。  
けがや窓の破損につながるおそれがあります。
- 外出や就寝の際には必ず窓を閉め、確実にロックしてください。また、ロック後は、窓が開かないことを確認してください。

## ■窓（網戸）の開閉時の注意事項

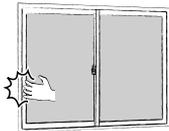
### お願い

#### 窓（網戸） スライド系（掃出しサッシ（床）、高窓、ランマ引違い窓、スライド網戸 など）



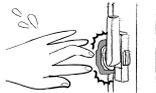
#### 周囲に人がいないことを確認！

窓（網戸）の開閉は、周囲に人がいないことを確認してから行ってください。窓（網戸）が人にぶつかったり、窓（網戸）で指をはさんだり、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。



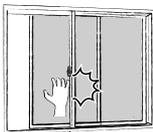
#### 窓（網戸）と枠、窓（網戸）と窓（網戸）のすき間に注意！

窓（網戸）の開閉時に、窓（網戸）と枠、窓（網戸）と窓（網戸）のすき間に手や足を置かないでください。指をはさんで、けがをするおそれがあります。



#### 部品のすき間に注意！

窓の操作部品や、可動部品のすき間に手や足を置かないでください。指をはさんで、けがをするおそれがあります。



#### 引手以外の部位を持って開閉しない！

窓（網戸）の開閉は、必ず引手を持ってゆっくり操作してください。引手以外を持って操作すると、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

- ・窓（網戸）の開閉時に誤って室外に転落しないようご注意ください。
- ・窓（網戸）の開閉やロックなどの操作時に指をはさんだり、爪を損傷しないようご注意ください。けがをするおそれがあります。
- ・窓（網戸）の開閉はゆっくり静かに行ってください。無理な操作や誤った操作、また衝撃のあるような乱暴な開閉をすると、窓（網戸）を破損するおそれがあります。

## ■窓（網戸）の調整・お手入れ時の注意事項

### ⚠️ 注意



〔強制〕

お手入れなどのために窓（網戸）をはずして再び取り付けた時は、必ずはずれ止めをセットしてください。  
正しくセットされていないと、窓（網戸）がはずれて落下し、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

- ・誤って室外に転落しないようご注意ください。
- ・周囲に人がいないことを確認し、安全に十分注意して行ってください。窓（網戸）にぶつかり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・誤って窓（網戸）を倒したり、落下させないようご注意ください。
- ・不安定な台の上などで行わないでください。転落や転倒により思わぬけがをすることがあります。
- ・指定されたネジ以外は絶対にはずさないでください。万が一はずれてしまった場合は、乳幼児が飲み込まないようにご注意ください。
- ・指や手をはさんだり、巻き込まれたり、窓（網戸）の端部や部品のかどに手をぶつけたりしないようご注意ください。けがをすることがあります。
- ・爪を損傷しないようご注意ください。

## ■ドアや掃出しサッシ（土間）についての注意事項

### お願い

風の強い時はドアや掃出しサッシ（土間）を閉めて、必ずロックしてください。  
ロックしないと、風の方でドアや掃出しサッシ（土間）が急に開閉し、その衝撃による破損や落下が起こり、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

- ・ドアや掃出しサッシ（土間）に寄りかかるなど、荷重をかけないでください。  
ドアや掃出しサッシ（土間）の破損によって思わぬけがや事故につながるおそれがあります。
- ・ドアのそばを通る時は、ハンドルにぶつからないようご注意ください。  
けがやドアの破損につながるおそれがあります。
- ・外出や就寝の際には必ずドアや掃出しサッシ（土間）を閉め、全てのカギを確実にロックしてください。  
また、ロック後は、ドアや掃出しサッシ（土間）が開かないことを確認してください。

## ■ ドアの開閉時の注意事項

### お願い

#### ドア



#### 周囲に人がいないことを確認！

ドアの開閉は、周囲に人がいないことを確認してから行ってください。ドアが人にぶつかったり、ドアで指をはさんだり、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。



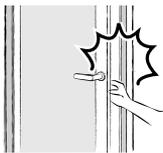
#### ドアと枠のすき間に注意！

ドアの開閉時に、ドアと枠のすき間に手や足を置かないでください。指をはさんで、けがをするおそれがあります。



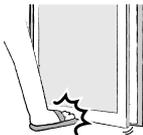
#### 部品のすき間に注意！

ドアの操作部品や、可動部品のすき間に手を置かないでください。指をはさんで、けがをするおそれがあります。



#### ハンドル以外の部位を持って開閉しない！

ドアの開閉は、必ずハンドルを持ってゆっくり操作してください。ハンドル以外の部位を持って開閉すると、指をはさんでけがをするおそれがあります。



#### ドア下端部のすき間に注意！

ドアの開閉時に、ドア下端部のすき間に足を置かないでください。足をはさんで、けがをするおそれがあります。特に、サンダル履きでの開閉時にご注意ください。

- ・ ドアの開閉はゆっくり静かに行ってください。無理な操作や誤った操作をすると、ドアを破損するおそれがあります。
- ・ ドアのロックなどの操作時に指をはさんだり、爪を損傷しないようご注意ください。けがをするおそれがあります。

## ■掃出しサッシ（土間）の開閉時の注意事項

## お願い

## 掃出しサッシ（土間）



## 周囲に人がいないことを確認！

掃出しサッシ（土間）の開閉は、周囲に人がいないことを確認してから行ってください。掃出しサッシ（土間）が人にぶつかったり、掃出しサッシ（土間）で指をはさんだり、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。



## 掃出しサッシ（土間）と枠、掃出しサッシ（土間）と掃出しサッシ（土間）のすき間に注意！

掃出しサッシ（土間）の開閉時に、掃出しサッシ（土間）と枠、掃出しサッシ（土間）と掃出しサッシ（土間）のすき間に手や足を置かないでください。

指をはさんで、けがをするおそれがあります。



## 部品のすき間に注意！

掃出しサッシ（土間）の操作部品や、可動部品のすき間に手や足を置かないでください。

指をはさんで、けがをするおそれがあります。



## 引手以外の部位を持って開閉しない！

掃出しサッシ（土間）の開閉は、必ず引手を持ってゆっくり操作してください。

引手以外を持って操作すると、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

- ・ 掃出しサッシ（土間）の開閉はゆっくり静かに行ってください。無理な操作や誤った操作をすると、掃出しサッシ（土間）を破損するおそれがあります。
- ・ 掃出しサッシ（土間）のロックなどの操作時に指をはさんだり、爪を損傷しないようご注意ください。けがをするおそれがあります。

## ■ ドアや掃出しサッシ（土間）の調整時の注意事項

- ・ 周囲に人がいないことを確認し、安全に十分注意して行ってください。ドアや掃出しサッシ（土間）が人にぶつかり、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。
- ・ 誤って格子や網戸を落としたり、倒さないようご注意ください。
- ・ 不安定な台の上などで行わないでください。転落や転倒により思わぬけがをするおそれがあります。
- ・ 指定されたネジ以外は絶対にはずさないでください。また、取りはずしたネジを放置しないでください。乳幼児が飲み込まないようご注意ください。
- ・ 指をはさんだり、ドアや掃出しサッシ（土間）の端部や部品の角などに手をぶつけないようご注意ください。けがをするおそれがあります。

## ■日除けカーテンについての注意事項

### お願い

- ・日除けカーテンに物を吊るしたり、ぶら下がったりしないでください。日除けカーテンが破損し、落下するおそれがあります。
- ・日除けカーテンの開閉操作は手、またはオプションのフック棒を使って、必ず操作ひもで開閉してください。  
商品が破損して、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。
- ・日除けカーテンに火の気があるものを近付けないでください。  
カーテン生地が溶けたり、変形するおそれがあります。

# ご使用にあたって

商品を長く正常な状態でご使用いただくために、日常生活の中で気をつけていただきたい事項です。

## 第1章

安全にお使いいただくために

### ●商品の点検について

長期間、商品をご使用になると、ネジのゆるみなど様々な症状が起こることがあります。お手入れの際は商品のネジ部品がはずれたり、破損していないことを点検してください。  
(⇒ P.103「第5章 保守点検」)

# 知っていただきたい現象

日常生活の中で『何かおかしいな…』と覚ることがある現象も、商品の不具合ではなく、商品の特性に関連して発生する場合があります。

ここでは発生する可能性のある現象について、商品の特性を踏まえて説明しています。

## 寒冷地と雪の種類について

雪おろしの目安の積雪量以下であっても商品が破損する場合があります。

雪の重さは積雪量 1cm 当たり約 3.0kgf/m<sup>2</sup>で計算しますが、雪の状態により大きく変化します。

湿雪や降雨後の雪は、新雪時に比べ約 3 倍の重さになります。

また、寒冷地では低温や凍結によって機能低下や、操作が困難な場合があります。

低温や凍結の場合の無理な操作は故障の原因となりますので操作は控えてください。

積雪については下記資料を参考に雪の種類に従い早めに雪おろししてください。

### 【参考】

	新雪	しまり雪 (雪の重みで硬くしまった雪)	ざらめ雪 (氷つぶのようにざらざらした雪)
雪比重	0.3 1cm 当たり約 3.0kgf/m <sup>2</sup>	0.5 1cm 当たり約 5.0kgf/m <sup>2</sup>	0.7 1cm 当たり約 7.0kgf/m <sup>2</sup>

## 結露について

夜間や早朝など外気温が下がり、外気によって冷やされた商品の温度が露点以下になり、そのまわりの空気が冷たい商品に触れると、空気中の水蒸気が凝縮して結露が発生します。

特に、夜間と日中の気温差が大きい時や、湿度が高い場所、風通しが悪い場所や空気の動きがない場所などでは発生しやすくなります。

エクステリア商品に発生する結露は、周囲環境や立地条件などによる自然現象なので、防ぐことはできません。

## ステンレスのさびについて

ステンレスは表面に独自の保護皮膜が形成されます。この皮膜は空気中の酸素が触れている間は優れた耐食性を示す性質を持っていますが、表面が汚れると酸素との接触が妨げられ、さびが発生することがあります。

特に下記のような場合は、さびが発生しやすくなります。

- 塩素系の洗剤がステンレス部に付着した場合
- 海岸沿いなどの環境において塩分が付着した場合
- 他の物のさびがステンレス表面に付着した場合（もらいさび）など

さびが発生した場合は、台所用クレンザー、市販のステンレス用清掃薬剤などでこすり落としてください。この場合表面にこすりキズがつくことは避けられません。「もらいさび」が落ちない場合は、さびが進行しステンレス自身にさびが生じたものと考えられます。

### さびを予防するポイント

- 一旦発生したさびは落とすことが難しいため、日頃から中性洗剤（1～2%の水溶液）で、こまめにお手入れをする。

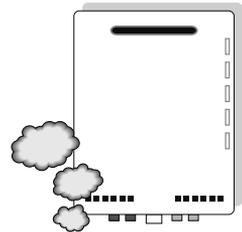
## ガス給湯器などの排気ガスによる腐食について

ガス給湯器などからの排気ガスが、アルミ部材の塗膜のはがれなどの表面異常の原因となることがあります。

ガス給湯器などの排気ガスの成分には、微量ながら硫黄分が含まれている場合があり、この硫黄分が空気中や排気ガスの水分と化学反応を起こして、亜硫酸、硫酸のような強い腐食性の酸を作ることがあります。

これらの酸が塗膜表面に付着すると、塗膜自体を劣化させ、塗膜の下のアルミに達し、アルミとの化学反応によって塗膜はがれなどの表面異常を引き起こすことがあります。

また、ガス給湯器や車の排気ガスが直接当たらなくても、周辺の通気が悪く、排気ガスが滞留するような場所にアルミを使用した場合でも塗膜のはがれなどが起こるおそれがあります。



### 腐食を予防するポイント

- ガス給湯器および車の排気ガスが直接アルミに当たらないようにする。
- 排気口付近にアルミ製品を設置する場合は、こまめにお手入れし、周辺の通気を確認したうえで使用する。

## 風について

風の強さ、吹き方は住宅の立地条件（山の高い場所に建っているなど）により異なります。

風速は10分間の平均風速、瞬間風速は3秒間の平均風速を指します。

風の吹き方は絶えず変動し、瞬間的な強い風などで商品が飛ばされる場合があります。完全に防ぐことはできませんがより安心してお使いいただくため、ネジのゆるみや破損箇所がないかなど、こまめに保守点検してください。

【参考】

平均風速		人への影響
10～15m/秒	やや強い風	風に向かって歩きにくくなる
20～30m/秒	非常に強い風	何かにつかまっていないと立ってられない
30m/秒以上	猛烈な風	屋外での行動は極めて危険

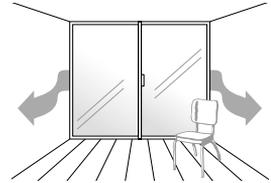
【気象庁ホームページ「風の強さと吹き方」より抜粋】

## 窓やドアなどを閉めきった時のすき間風について

窓・ドアを閉めきった時のすき間をふさぐために、枠や窓・ドアにはパッキンなどの気密部品を取り付けています。強風や季節風などによって室内外に気圧差が生じると、この気密部品の接触部分からすき間風が発生します。

これは自然現象のひとつであり完全になくすことはできません。

ただし、すき間風があまりに激しい場合は、窓・ドア各部の調整が不十分であることが考えられますので、調整をお願いします。なお、換気扇を使用した場合は、強制的に空気を室外に排出するため、気密材と枠または窓・ドアの接触部分から空気が入ることがあります。



## ドア・掃出しサッシ（土間）などからの雨水浸入について

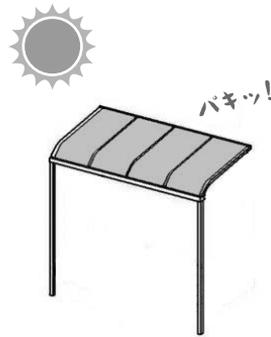
強風雨時など、ドア・掃出しサッシ（土間）から雨水が浸入することがありますが、商品の不良ではありません。玄関は屋根などにより通常の風雨は防げますが、濡れたり、汚れた靴で入ることを想定して土間仕上げとなります。居室に使用される窓と同等の水密性能は、玄関には施されていません。

また、ドア・掃出しサッシ（土間）の施錠機構は、窓に採用されているような枠と窓を密着させて雨水浸入を防止する引き寄せ構造にはなっていないのが一般的です。



## 屋根ふき材の音鳴り現象について

エクステリア商品は、屋外に取り付けられています。屋根ふき材は、特に太陽光を直接受けて、屋根ふき材が熱により膨れたりこすれたりして異音が発生することがあります。これは、必ず起こる現象ではなく、気温、立地条件、季節、使用材料など複合的な要素により発生する不可抗力現象であり、商品の不具合によるものではありません。また、熱による膨れや異音は、日が陰れば自然に治ります。



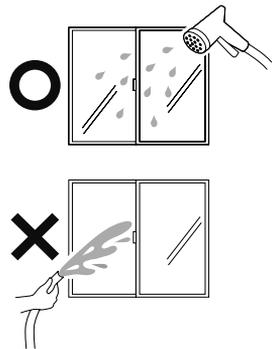
## エクステリア商品の表面温度について

エクステリア商品は、屋外に取り付けられているため、長時間直射日光が当たると、表面温度が非常に高くなることがあります。特に、ブラック・ブラウンなど色の濃い商品ほど表面温度が上昇します。直射日光が強い時間帯はやけどをするおそれがありますので、素手や素足で触れないようご注意ください。

## 清掃時の散水による水侵入について

窓を閉めた状態で雨が室内側へ入らないよう、窓にはパッキンなどの気密部品が付いています。これは、強風を伴う降雨時を想定した所定の水密性能を確保するためのものですが、窓と枠すき間を完全に密閉するものではありません。清掃時に、ホースや高圧洗浄機などで強く水をかけたり、下から上方向に水をかけたりすると、室内側へ水が入る場合があります。これは、水の勢いが強かったり、上方向に水をかけたりしたことで、通常の降雨を想定した窓の水密性能を超える状況となったことによるもので、窓の不具合ではありません。

清掃時は、草花に水やりする程度の水流で、下方向にシャワー状の水がかかるように散水してください。



# 第2章 使い方

この章では、商品の開閉やロックの方法など、日常的な使い方について説明しています。

テラス	テラスタイプ	P.18
囲い	テラス囲いタイプ	P.20
	日除けカーテン	P.39

# テラスタイプ

## 第2章

### テラス タイプ

### テラス 囲い タイプ

### 使 い 方

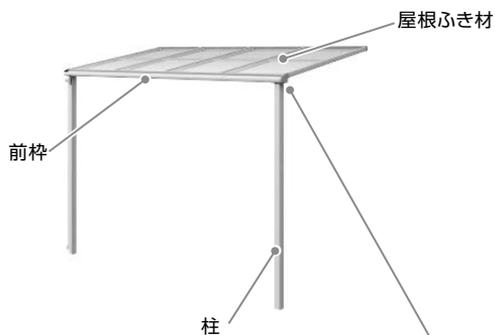
## お願い

樹脂製商品や屋根ふき材に、有機溶剤を含む殺虫剤やガラスクリーナーを付着させないようにご注意ください。ひび割れやはがれの原因となります。

- お手入れ方法についてはP.48を参照してください。

## ■種類・各部の名称

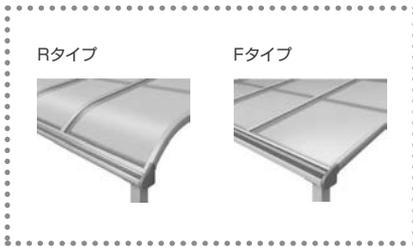
### ●テラスタイプ



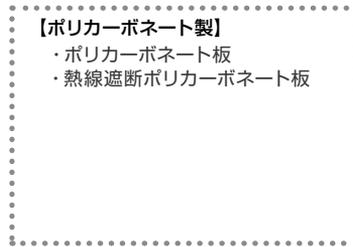
**ゴミ出しエルボ**  
キャップをはずすと溜まったゴミを取り出せます。



## ●屋根形状の種類



## ●屋根ふき材の種類



## ●その他のオプション

## お願い

商品の制限荷重以上の重さをかけないでください。  
商品の破損や、転落など思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 物干しは、必ず物干し竿を使用してください。ロープなどを使用すると無理な荷重がかかり、商品が破損するおそれがあります。
- 物干しのそばを通る時は、ぶつからないよう注意してください。  
商品の破損につながるおそれがあります。

	腕木式物干し	吊り下げ式 固定物干し
物干しの種類		
制限荷重	片側当たり20kg (竿掛け1か所5kg以下)	片側当たり40kg (竿掛け1か所10kg以下)

# テラス囲いタイプ

## ご使用前に確認してください

- 必ず、P.3「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

### 第2章

#### テラス タイプ

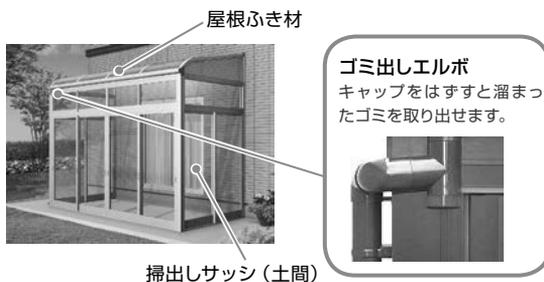
#### テラス 囲い タイプ

- 直射日光などで、囲い内部が高温になる場合があります。お子様やペットなどには特にご注意ください。また、熱の影響を受けやすいものを放置しないでください。
- 囲い商品は、テラス屋根の前面、側面から著しく風雨が吹き込まないよう簡易的に覆ったものです。居室としての使用は避けてください。
- 使用環境により、結露が発生し、水滴が落ちる場合があります。
- 網戸を使用しているも、虫の大きさや種類によって完全に侵入を防ぐことはできません。
- お手入れ方法についてはP.50を参照してください。

#### 使 い 方

## ■種類・各部の名称

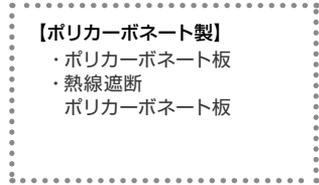
### ●テラス囲いタイプ



●屋根形状の種類



●屋根ふき材の種類



●テラス囲いに取り付けられる開口部・網戸の種類



●その他のオプション

お願い

商品の制限荷重以上の重さをかけないでください。  
商品の破損や、転落など思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 物干しは、必ず物干し竿を使用してください。ロープなどを使用すると無理な荷重がかかり、商品が破損するおそれがあります。
- 物干しのそばを通る時は、ぶつからないよう注意してください。  
商品の破損につながるおそれがあります。

	腕木式物干し	吊り下げ式 固定物干し
物干しの種類		
制限荷重	片側当たり20kg (竿掛け1か所5kg以下)	片側当たり40kg (竿掛け1か所10kg以下)

日除けカーテン

開閉できる天井用カーテンです。



## ■窓や網戸についての注意事項

### ⚠ 注意



[強制]

ご使用中、窓や網戸のはずれ止めがずれることがあります。時々点検し、正しくはずれ止めがセットされていることを確認してください。  
はずれ止めが正しくかかっていないと、窓や網戸がはずれて落下し、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

### お願い

風の強い時は窓を閉め、必ずロックしてください。  
ロックしないと、風の力で窓が急に開閉し、その衝撃で破損や落下が起こり、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

- 窓に寄りかかるなど、荷重をかけないでください。  
窓の破損や落下によって思わぬけがや事故につながるおそれがあります。
- 網戸にぶつかったり、寄りかかったりしないでください。  
網戸がはずれ、破損や落下し、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。  
特にお子様にはご注意ください。
- 窓のそばを通る時は、開いている窓やハンドルにぶつからないようご注意ください。  
けがや窓の破損につながるおそれがあります。
- 外出や就寝の際には必ず窓を閉め、確実にロックしてください。また、ロック後は、窓が開かないことを確認してください。

## ■窓や網戸の開閉時・調整時の注意事項

### ⚠注意



[強制]

お手入れなどのために窓や網戸をはずして再び取り付けた時は、必ずはずれ止めをセットしてください。  
正しくセットされていないと、窓や網戸がはずれて落下し、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

- 窓、網戸のすき間で手や指をはさまないようにご注意ください。  
けがをするおそれがあります。  
特にお子様にはご注意ください。
- 開閉する際は、開閉位置に手や足を出さないでください。  
手や足、体をはさまれけがをするおそれがあります。
- 開閉時および調整時に誤って室外に転落しないようご注意ください。  
けがをするおそれがあります。
- 開閉は必ず引手やハンドルを使って操作してください。  
けがをするおそれがあります。
- 開閉やロックなどの操作時、および調整時に指をはさまないようにご注意ください。また調整時には、窓や網戸の端部や部品のかどに手をぶつけたりしないようご注意ください。  
けがをするおそれがあります。
- 開閉やロックなどの操作時、および調整時に爪を損傷しないようご注意ください。
- 窓や網戸の取り付け、取りはずし、調整、お手入れなどを行う際は、周囲に人がいないことを確認し、安全に十分注意して行ってください。  
窓や網戸にぶつかり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 窓や網戸の取り付け、取りはずし、調整、お手入れ時に、誤って窓や網戸を落下させたり、倒したりしないようご注意ください。  
商品の破損や、転落など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 窓や網戸の開閉はゆっくり静かに行ってください。無理な操作や誤った操作、また衝撃のあるような乱暴な操作をすると、窓や網戸を破損するおそれがあります。

## ■ ドアや掃出しサッシ（土間）についての注意事項

### お願い

風の強い時はドアや掃出しサッシ（土間）を閉めて、必ずロックしてください。  
ロックしないと、風の方でドアや掃出しサッシ（土間）が急に開閉し、その衝撃による破損や落下が起こり、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

- ドアや掃出しサッシ（土間）に寄りかかるなど、荷重をかけないでください。  
ドアや掃出しサッシ（土間）の破損によって思わぬけがや事故につながるおそれがあります。
- ドアのそばを通る時は、ハンドルにぶつからないようご注意ください。  
けがやドアの破損につながるおそれがあります。
- 外出や就寝の際には必ずドアや掃出しサッシ（土間）を閉め、全てのカギを確実にロックしてください。  
また、ロック後は、ドアや掃出しサッシ（土間）が開かないことを確認してください。

## ■ ドアや掃出しサッシ（土間）の開閉時・調整時の注意事項

### お願い

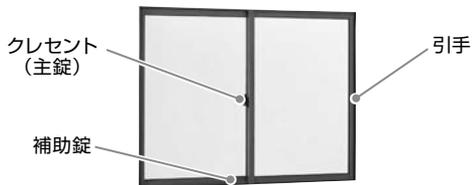
開閉時にドアや掃出しサッシ（土間）のすき間に絶対に手を置かないでください。  
指をはさんで重傷を負うおそれがあります。  
特にお子様にはご注意ください。

開閉は必ず引手やハンドルを使って操作してください。  
特にドアは、ハンドルから手を離したり、ドアの先端に手を置いたりすると、突風などでドアが急に閉まり、指をはさんで重傷を負うおそれがあります。  
特にお子様にはご注意ください。

ドアの開閉時に下端部が足にあたらないようご注意ください。  
足をはさんで重傷を負うおそれがあります。特にお子様やサンダル履きでの開閉時にはご注意ください。

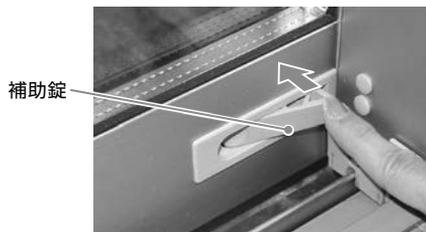
- ドアの開閉および調整は、周囲に人がいないことを確認し、ハンドルを持ってゆっくり行ってください。  
ドアや掃出しサッシ（土間）が人にぶつかり、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。
- ロックなどの操作時、および調整時に指をはさまないようにご注意ください。また調整時には、ドアや掃出しサッシ（土間）の端部や部品のかどなどに手をぶつかけたりしないようご注意ください。  
けがをするおそれがあります。
- ロックなどの操作時、および調整時に爪を損傷しないようご注意ください。
- 開閉はゆっくり静かに行ってください。無理な操作や誤った操作をすると、ドアや掃出しサッシ（土間）を破損するおそれがあります。

# 掃出しサッシ(床)、高窓、ランマ引違い窓の開け方



## 1 補助錠を解錠する

補助錠の飛び出している部分を  
押します。

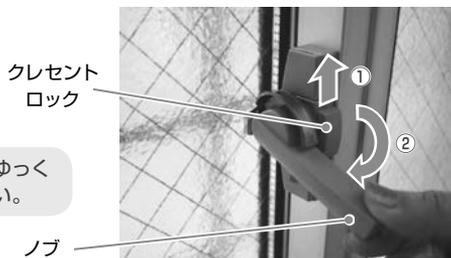


(※補助錠は、より防犯性を高めるための補助的なカギです。)

## 2 クレセントを解錠する

クレセントロックを上げ、  
ノブを下にまわします。

**お願い** ● クレセントはノブを持ってゆっくりと確実に操作してください。



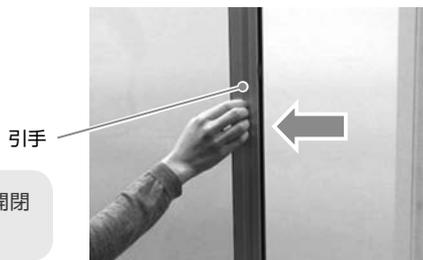
## 3 窓を開ける

引手に指をかけ、開けたい位置まで静かにスライドさせます。

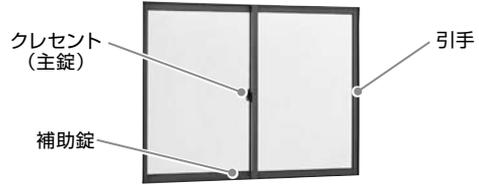
**注意**



引手以外の部分を持って窓を開閉しないでください。



# 掃出しサッシ(床)、高窓、ランマ引違い窓の閉め方



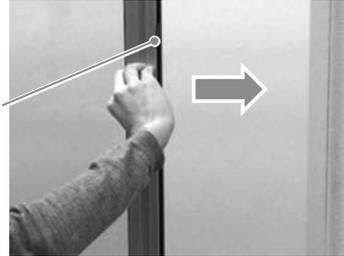
## 1 窓を閉める

引手に指をかけ、最後まで閉めます。

### ▲注意



引手以外の部分を持って窓を開閉しないでください。



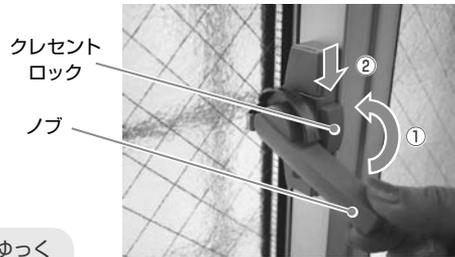
## 2 クレセントをロックする

ノブを上にもわし、クレセントロックを下げます。

※クレセントには空掛け防止機能があり、窓がしっかり閉まっていないとまわりません。

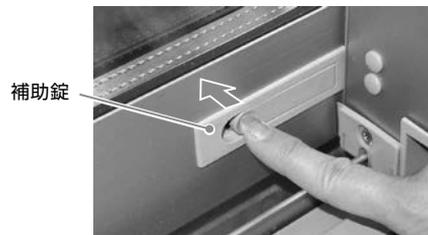
### お願い

- クレセントはノブを持ってゆっくりと確実に操作してください。



## 3 補助錠をロックする

補助錠のくぼみを奥に押します。窓が開かないことを確認します。

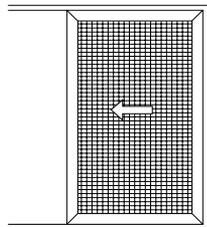


(※補助錠は、より防犯性を高めるための補助的なカギです。)

## スライド網戸の開け方

左右にスライドさせて開閉します。

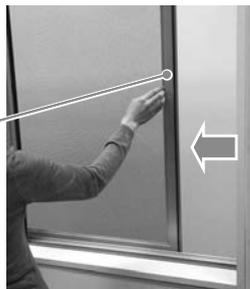
- お手入れ方法については、P.65を参照してください。



### 1 網戸をスライドさせる

手掛け部に指をかけて網戸をスライドさせて開けます。

手掛け部

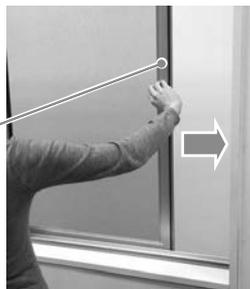


## スライド網戸の閉め方

### 1 網戸をスライドさせる

手掛け部に指をかけて網戸をスライドさせて閉めます。

手掛け部

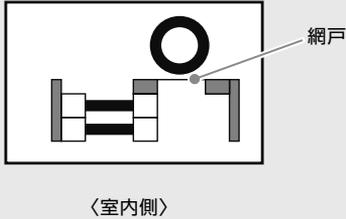


## 網戸と窓の位置について

網戸をより効果的に利用するため、網戸と窓の位置を下記のようにしてご使用ください。

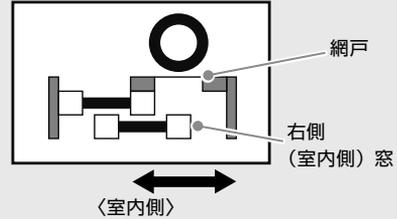
### ●全開にする場合

網戸を右側に寄せ、2枚の窓を左側で重ねて使用してください。



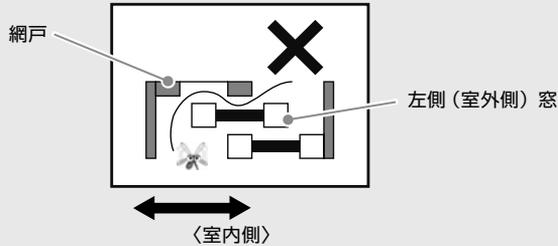
### ●換気量を調節する場合

網戸を右側に寄せて使用すると、右側（室内側）の窓で換気量を調節できます。

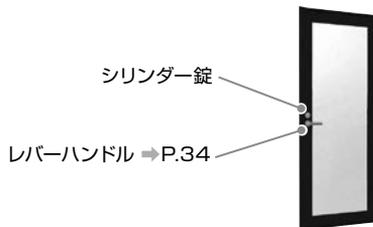


### ●虫が侵入しやすい状態

※ 網戸が左側にある状態で左側（室外側）の窓を動かさないでください。窓と網戸のすき間ができ、虫が侵入しやすくなります。



## ドアの使い方（外に出る時）



### お願い

誤ってカギを地面に落とした際など、カギのきざみ部分やミゾに泥土、ホコリが付着した場合は、使用する前にお手入れをしてください（⇒P.46「カギ・カギ穴」）。

差し込んだカギを持ってドアの開閉をしないでください。カギが曲がり、正しく使用できなくなるおそれがあります。

- カギを紛失した場合は、防犯のため、カギの交換をお勧めします。

### 1 主錠（シリンダー錠）を解錠する

全てのサムターンツマミを90°まわし、解錠（タテ向き）します。

サムターンツマミ

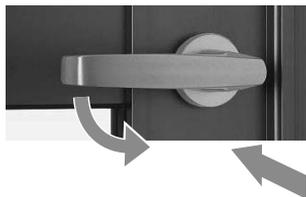


※写真は室内側から見て右側が開くドアの例です。左側が開くドアは、まわす方向が逆になります。



### 2 ハンドルを操作してドアを開ける

ハンドルを持って、斜め下45°にまわし、押し開けます。



### 3 ドアを閉める

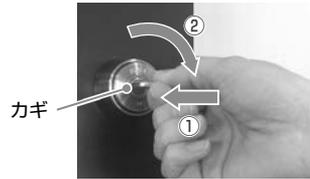
開いたドアを静かに閉めます。

- お願い**
- ドアを無理に閉めないでください。ドアクローザーの油漏れなど故障の原因となります。

### 4 主錠（シリンダー錠）を施錠する

カギを奥までしっかりと差し込み、90°まわします。

- お願い**
- 奥まで差し込む前にカギをまわさないでください。

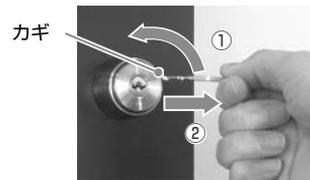


※ 写真は室外側から見て左側が開くドアの例です。右側が開くドアは、まわす方向が逆になります。

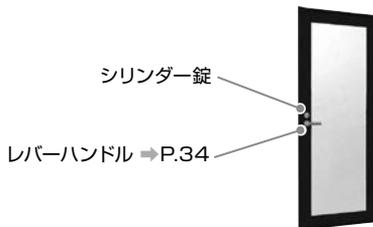
### 5 カギを抜く

カギを元の方向に戻して抜きます。

ハンドルを引き、ドアが開かないことを確認します。



## ドアの使い方（中に入る時）



### お願い

誤ってカギを地面に落とした際など、カギのきざみ部分やミゾに泥土、ホコリが付着した場合は、使用する前にお手入れをしてください（⇒P.46「カギ・カギ穴」）。

差し込んだカギを持ってドアの開閉をしないでください。カギが曲がり、正しく使用できなくなるおそれがあります。

- カギを紛失した場合は、防犯のため、カギの交換をお勧めします。

### 1 主錠（シリンダー錠）を解錠する

カギを奥までしっかりと差し込み、90°まわします。

#### お願い

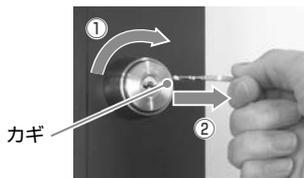
- 奥まで差し込む前にカギをまわさないでください。

※写真は室外側から見て左側が開くドアの例です。右側が開くドアは、まわす方向が逆になります。



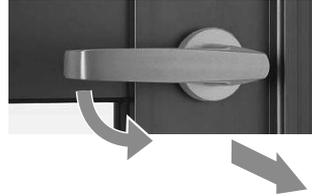
### 2 カギを抜く

カギを元の方向に戻して抜きます。



### 3 ハンドルを操作してドアを開ける

ハンドルを持って、斜め下45°にまわし、引いて開けます。



### 4 ドアを閉める

開いたドアを静かに閉めます。

お願い

- ドアを無理に閉めないでください。ドアクローザーの油漏れなど故障の原因となります。

### 5 主錠（シリンダー錠）を施錠する

全てのサムターンツマミを90°まわし、施錠（ヨコ向き）します。

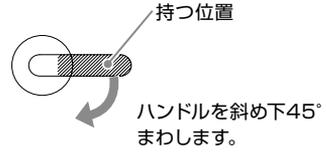
サムターンツマミ

※ 写真は室外側から見て左側が開くドアの例です。右側が開くドアは、まわす方向が逆になります。



## ドアハンドルの使い方

### ■レバーハンドル



## 掃出しサッシ（土間）の 使い方（外に出る時）



### お願い

誤ってカギを地面に落とした際など、カギのきざみ部分やミゾに泥土、ホコリが付着した場合は、使用する前にお手入れをしてください（⇒P.46「カギ・カギ穴」）。

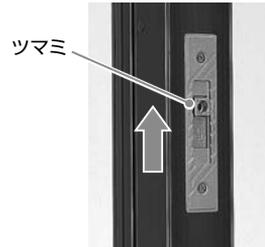
差し込んだカギを持って扉の開閉をしないでください。カギが曲がり、正しく使用できなくなるおそれがあります。

- カギを紛失した場合は、防犯のため、カギの交換をお勧めします。

### 1 戸先錠・召合せ錠を解錠する

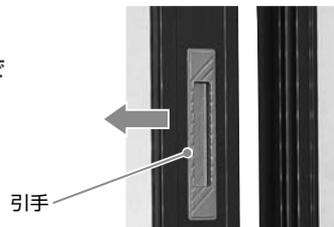
開く側の戸先錠または召合せ錠のツマミを上  
にスライドして解錠します。

※ 解錠されると、ツマミ部分の表示が「開」  
になります。



### 2 掃出しサッシ（土間）を開ける

引手に指をかけ、静かに開けたい位置まで  
スライドさせます。



### 3 掃出しサッシ（土間）を閉める

室外より引手に指をかけ、静かに閉めます。

## 4 戸先錠・召合せ錠を施錠する

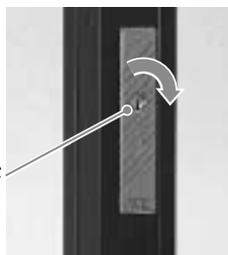
カギを奥までしっかりと差し込み  
まわして施錠します。

お願い

- 奥まで差し込む前にカギをまわさないでください。

※ 錠の種類によってカギ穴の向きや回転方向  
などが異なる場合があります。

カギ



## 5 カギを抜く

カギを差し込んだ位置に戻し、そのまま  
ゆっくりカギを抜きます。

## 掃出しサッシ（土間）の 使い方（中に入る時）



### お願い

誤ってカギを地面に落とした際など、カギのきざみ部分やミゾに泥土、ホコリが付着した場合は、使用する前にお手入れをしてください（⇒P.46「カギ・カギ穴」）。

差し込んだカギを持って扉の開閉をしないでください。カギが曲がり、正しく使用できなくなるおそれがあります。

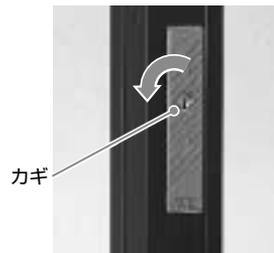
- カギを紛失した場合は、防犯のため、カギの交換をお勧めします。

### 1 戸先錠・召合せ錠を解錠する

カギを奥までしっかりと差し込みまわして解錠します。

**お願い** ● 奥まで差し込む前にカギをまわさないでください。

※ 錠の種類によってカギ穴の向きが異なる場合があります。

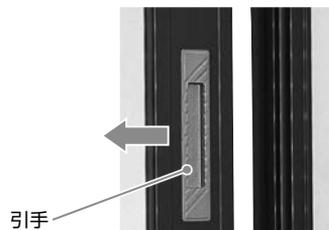


### 2 カギを抜く

カギを差し込んだ位置に戻し、そのままゆっくりカギを抜きます。

### 3 掃出しサッシ（土間）を開ける

引手に指をかけ、静かに開けたい位置までスライドさせます。



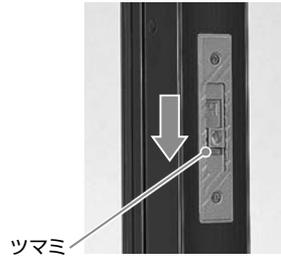
## 4 掃出しサッシ（土間）を閉める

室内より引手に指をかけ、静かに閉めます。

## 5 戸先錠・召合せ錠を施錠する

戸先錠または召合せ錠のつまみを下にスライドして施錠します。

※ 施錠されると、つまみ部分の表示が「閉」になります。



# 日除けカーテン

## ご使用前に確認してください

- 必ず、P.3「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

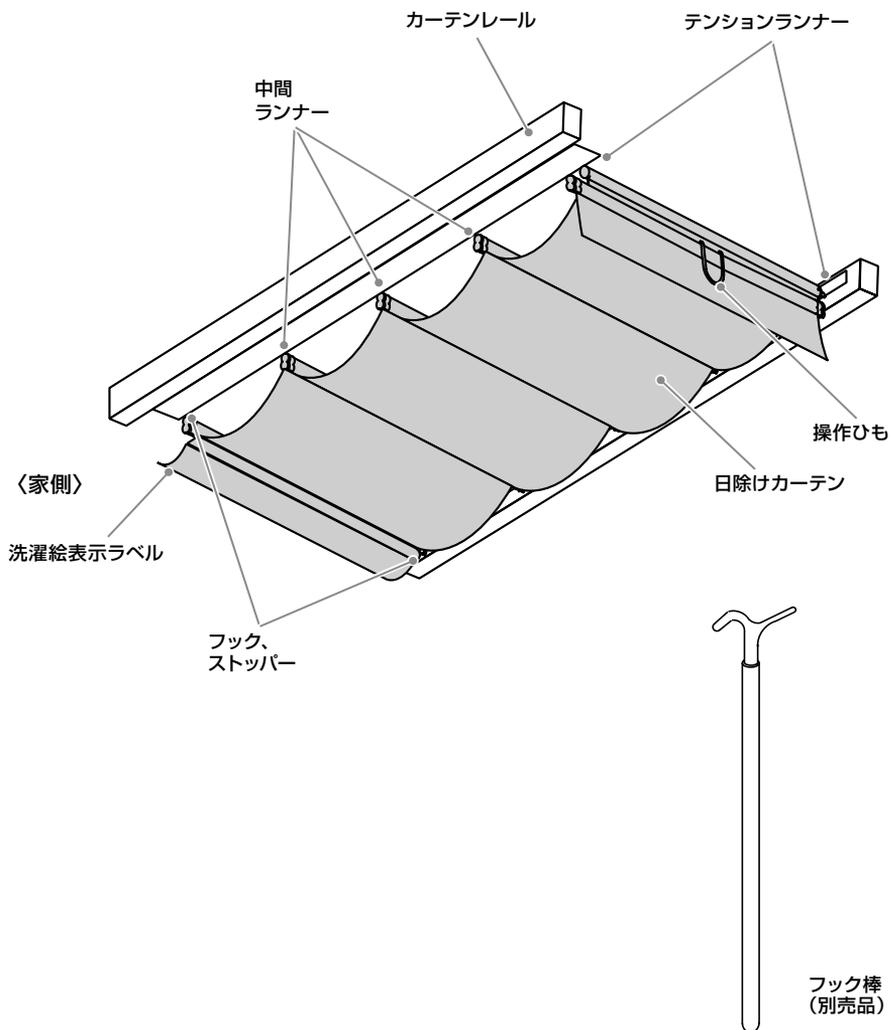
## 第2章

テラス  
タイプ

テラス  
囲い  
タイプ

使  
い  
方

### ■各部の名称

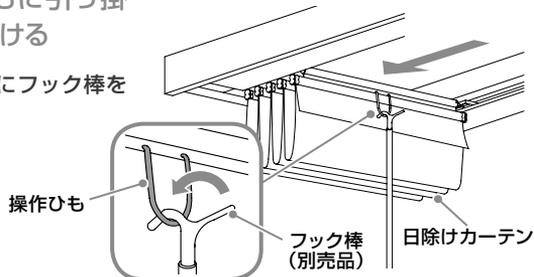


## 日除けカーテンの開け方

フック棒（別売品）を使用して日除けカーテンを開けることができます。

### 1 フック棒の先を操作ひもに引っ掛けて日除けカーテンを開ける

日除けカーテンを開ける方向にフック棒を引きます。

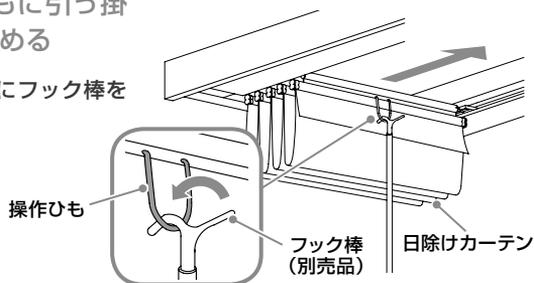


## 日除けカーテンの閉め方

フック棒（別売品）を使用して日除けカーテンを閉めることができます。

### 1 フック棒の先を操作ひもに引っ掛けて日除けカーテンを閉める

日除けカーテンを閉める方向にフック棒を引きます。



# 第3章 お手入れ

この章では、商品のお手入れ方法や調整について説明しています。  
商品を安全に長くお使いいただくためには、日ごろのお手入れが大切になります。

	お手入れ時の注意事項.....	P.42
	お手入れ方法.....	P.43
テラス	テラスタイプ.....	P.48
囲い	テラス囲いタイプ.....	P.50

# お手入れ時の注意事項

商品を長く使うために、商品に応じたこまめなお手入れと不具合が生じた時の調整が大切です。お手入れせずに放置すると、表面に付着した汚れはしみ、腐食やさびの原因となり、他の不具合が発生します。

本書のお手入れ方法や調整方法に従ってお手入れしてください。

- 商品の調整やお手入れの際は、指定されたネジ以外は絶対に取りはずさないでください。また、取りはずしたネジを放置しないでください。乳幼児が飲み込むおそれがあります。
- 調整やお手入れの際は、椅子など不安定なものを踏み台として使用しないでください。転落や転倒により思わぬけがをするおそれがあります。
- お手入れの際、窓やドアにホースや高圧洗浄機などで強く水をかけないでください。室内側へ水が入る場合があります。

## 第3章

テラス  
タイプ

テラス  
囲い  
タイプ

お  
手  
入  
れ

### 【薬品への配慮】

- 有機溶剤（シンナー、ベンジン、アセトンなど）が表面に付着すると、ひび割れやはがれなどが生じますので、お手入れには有機溶剤を使用しないでください。
- 塩素系薬品（次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など）が表面に付着したまま放置された場合、表面が変色することがあります。付着した場合はすみやかに洗い落としてください。



### 【キズへの配慮】

- 金属たわしやカメノコタワシなどは傷つきやすいので、絶対に使用しないでください。表面にキズが付くおそれがあります。
- 砂などがついたままふき掃除をすると、表面にキズがつくおそれがあります。

### 【調整する場合】

- 商品の調整に電動ドライバーは使わないでください。商品の不具合や破損の原因となります。
- 調整に必要な箇所以外のネジをゆるめないでください。商品の不具合や思わぬけがの原因となります。
- ご自身で調整を行う場合は、本章に記載する調整方法に従ってください。ご自身で調整しても不具合が改善されない場合は、お取り扱いの建築会社、工務店、販売店に修理を依頼してください。

# お手入れ方法

## アルミ製商品／樹脂製商品(デッキ材含む)／ ポリカーボネート板(屋根ふき材含む)

### お願い

ポリカーボネートの屋根ふき材は、古くなると、強風・積雪・衝撃で破損しやすくなります。古くなった屋根ふき材は、早めに交換してください。

ポリカーボネートに油膜がかった場合は、すみやかに清掃してください。割れや変形・変色が生じるおそれがあります。

#### ■ 樹脂製商品

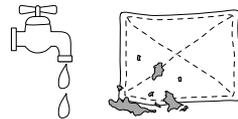
- ・ストーブやアイロンなどの熱源を近づけたり、触れたりしますと変形することがありますので、熱源を商品に近づけないでください。
- ・樹脂表面に殺虫剤などの薬剤を塗布・散布し付着しないようにご注意ください。薬剤が付着するとひび割れやはがれが発生するおそれがあります。

#### ■ ポリカーボネート板

- ・有機溶剤を含む、殺虫剤やガラスクリーナーは商品に付着しないようにしてください。ひび割れの原因になります。

### 1 表面のホコリ・砂を落とす

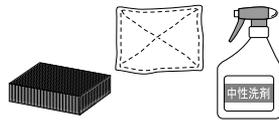
柔らかい布に水を浸し、表面についたホコリ・砂などを洗い落とします。



### 2 水ぶきする

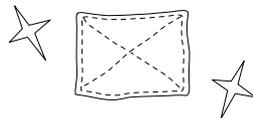
柔らかい布またはスポンジで全体を水ぶきします。

※水ぶきで落ちない場合は、中性洗剤(1～2%の水溶液)で軽く洗い流します。



### 3 水分をふき取る

乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



## ガラス

第3章

テラス  
タイプ

テラス  
囲い  
タイプ

お  
手  
入  
れ

- ガラス表面にキズがつくと割れるおそれがありますので、お手入れの際は必ず柔らかい布をご使用ください。
- 表面にキズがついてしまった場合はお早めに、商品をお求めの建築会社、工務店、販売店にご相談ください。
- ガラスに浮き出る吸盤やラベルの跡について  
ガラスの表面が曇った時などに、製造や施工の際に使用する吸盤の跡や、施工時に貼ってあるラベルの跡が浮き出てくる場合があります。  
この現象はガラスの機能、性能に影響を及ぼすものではありませんが、通常のガラスクリーニングでは除去できない場合があります。  
中性洗剤で落とすことが難しい場合は、カー用品店やホームセンターで購入できる「自動車用油膜除去剤」（酸化セリウム配合）で除去できます。  
ご使用にあたっては、「油膜除去剤」に添付されている取扱説明書をよくお読みのうえ、ご使用ください。

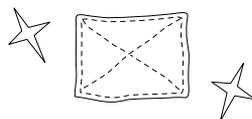
### 1 汚れをふき取る

柔らかい布に中性洗剤（1～2%の水溶液）を浸し、汚れをふき取ります。



### 2 水分をふき取る

乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



## ハンドル・引手

清掃方法については、「アルミ商品／樹脂商品（デッキ材含む）／屋根ふき材」（⇒P.43）を参照してください。

## 日除けカーテン

- レール上にほこりやゴミ等が積もらないように、適時そうじを行ってください。
- カーテン生地素材は、ポリエステル100%の防災タイプです。多少の色あせが発生しますが、強度に優れた素材となっています。
- カーテン生地を取りはずして洗濯する際は、高所作業のため十分に注意してください。椅子など不安定なものを踏み台として使用すると転落や転倒により思わぬけがをされるおそれがあります。

清掃方法については、「カーテン生地の洗濯方法」（⇒P.83）を参照してください。

## 網戸（ネット部分）

- 網戸の取りはずし方・取り付け方は、P.70～P.71を参照してください。

### 1 ネットを水洗いする

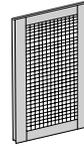
ネットがはずれないように柔らかいブラシ  
やスポンジで軽く押さえるように水洗いし  
ます。

※ 汚れが落ちない場合は、中性洗剤（1～2%  
の水溶液）を使い、軽く洗い流します。



### 2 水分をふき取る

水分を十分にふき取り、乾燥させます。



## カギ・カギ穴

- 油の含まれている潤滑剤（CRC、シリコンスプレーなど）は使用しないでください。油にホコリやゴミがついてカギ穴内部に粘着し、作動不良や故障の原因となります。

### ■カギ穴のお手入れ

第3章

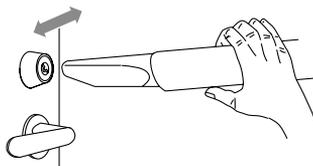
テラス  
タイプ

テラス  
囲い  
タイプ

お  
手  
入  
れ

#### 1 ごみを吸い出す

掃除機をカギ穴につけ、左右に振って中のゴミを吸い出します。



または  
パソコンのキーボードのゴミを飛ばすエア  
ダスターなどを使って中のゴミを吹き飛ば  
します。

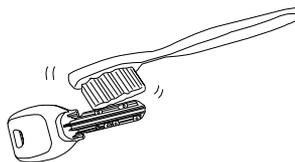


### ■カギのお手入れ

#### 1 汚れをかき出す

古い歯ブラシなどで、きざみ部分やミゾの  
汚れをかき出します。

※こまめに掃除をしてください。

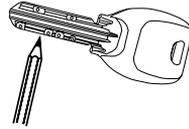


## ■カギ穴の抜き差しがスムーズにできない、または重い時

1

きざみ部分やミゾを黒く塗る

カギのきざみ部分やミゾを鉛筆でなぞり、黒く塗ります。



または

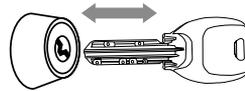
錠前潤滑剤をカギ穴に少量スプレーします。



2

カギを抜き差しする

カギ穴に差し込み、数回抜き差しします。

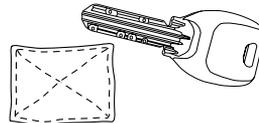


3

黒い粉や錠前潤滑剤をふき取る

カギに付着した黒い粉または錠前潤滑剤を布などでふき取ります。

※必ずふき取ってください。そのまま使用すると、衣服等を汚す場合があります。

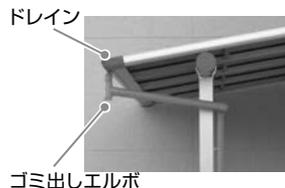


# テラスタイプ

## 雨樋・ゴミ出しエルボの清掃方法

台風や暴風雨の後や秋の木枯らしが吹いた後など、テラスの前枠にゴミや落ち葉などがつまり、雨樋をふさいでしまうことがあります。

この状態を放置すると、思わぬところから雨水があふれ出すことがありますので、下記の方法で清掃を行ってください。



### ご使用前に確認してください

- 必ず、P.3「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

### 第3章

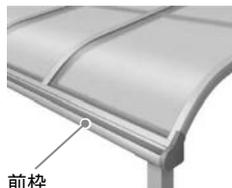
テラス  
タイプ

テラス  
囲い  
タイプ

お手  
入れ

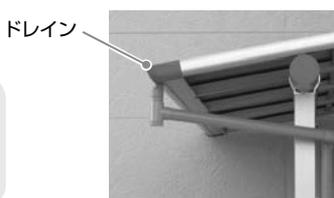
### 1 前枠の大きなゴミを取り除く

- 前枠の中の落ち葉などを取り除く際は、割り箸を使用してください。素手で取ると、突起等でけがををするおそれがあります。



### 2 ドレインのゴミを取り除く

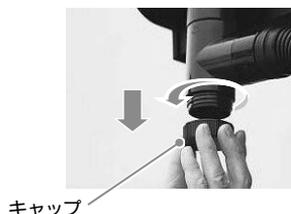
- ドレインのゴミを取り除かないと、水がたまってドレインからあふれ、思わぬところで雨漏りが発生するおそれがあります。



### 3 ゴミ出しエルボを清掃する

ゴミ出しエルボが付いている場合は、キャップを反時計回りにまわしてはずし、中のゴミを取り出します。

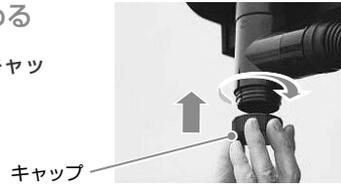
- キャップを開ける際、水が出る可能性がありますので、十分注意して開けてください。



## 4 全体を水で洗い流す

## 5 ゴミ出しエルボのキャップをはめる

ゴミ出しエルボが付いている場合は、キャップを時計回りにまわして元に戻します。



# テラス囲いタイプ

## レール・戸車の清掃方法

### お願い

レール・戸車は特にホコリ、ゴミなどがたまりやすいところです。こまめにお手入れしてください。

### 第3章

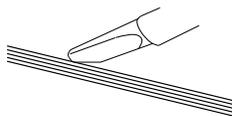
テラス  
タイプ

テラス  
囲い  
タイプ

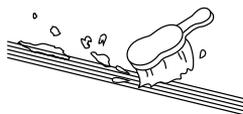
お  
手  
入  
れ

#### 1 砂やホコリを吸い取る

レールのミゾ内部にたまった砂やホコリを掃除機で吸い取ります。

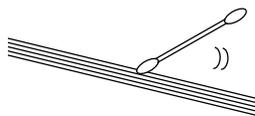


または、やわらかいブラシで砂やホコリを落とします。



#### 2 汚れをふき取る

割り箸の先に布を巻き付け、さらに汚れをふき取ります。



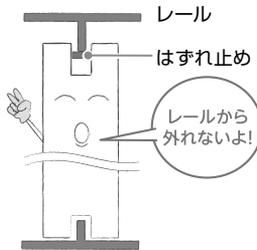
# 掃出しサッシ（床）、高窓、ランマ引違い窓のはずれ止めとは

はずれ止めは、強風などで窓が脱落、落下するのを防止するための部品です。  
窓をはずす時以外は、必ずはずれ止めをセットしてください。

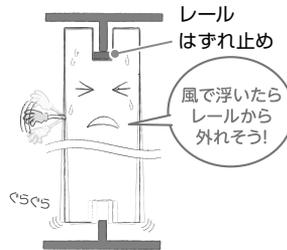
## ご使用前に確認してください

- 必ず、P.3「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

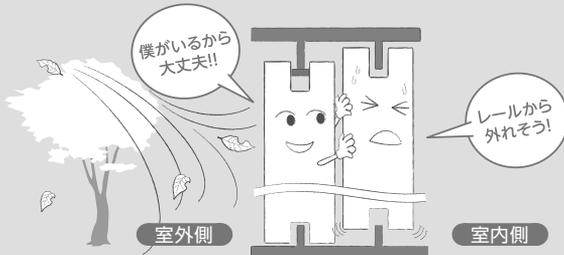
はずれ止めがセットされた状態



はずれ止めが解除された状態



はずれ止めは室外側の窓（室内側の窓と重なる部分）にあります。



# 掃出しサッシ（床）、高窓、ランマ 引違い窓のはずれ止めの解除方法

ドライバーを差し込んで、はずれ止め（金属部品）  
を上下に動かします。

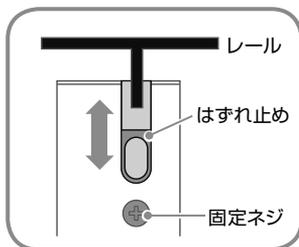


## 第3章

テラス  
タイプ

テラス  
囲い  
タイプ

お  
手  
入  
れ

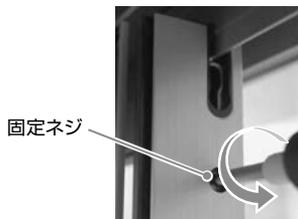


### 1 固定ネジをゆるめる

プラスドライバーで固定ネジを反時計回りに  
まわしてゆるめます。

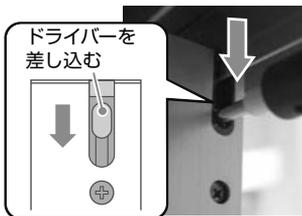
お願い

- ネジは絶対にはずさないでください。窓内部の部品がはずれ元に  
戻せなくなるおそれがあります。



### 2 はずれ止めを下げる

ドライバーをはずれ止めに差し込んで、  
一番下まで下げます。



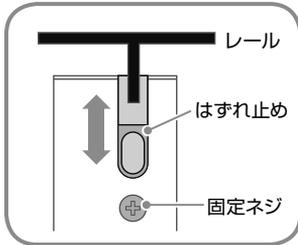
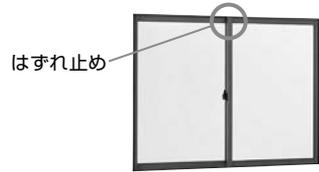
### 3 固定ネジをしめる

固定ネジを時計回りにまわしてしめます。



# 掃出しサッシ（床）、高窓、ランマ 引違い窓のはずれ止めのセット方法

ドライバーを差し込んで、はずれ止め（金属部品）を上下に動かします。



## 第3章

テラス  
タイプ

テラス  
囲い  
タイプ

お  
手  
入  
れ

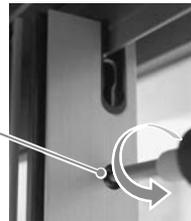
### 1 固定ネジをゆるめる

プラスドライバーで固定ネジを反時計回りにまわしてゆるめます。

お願い

- ネジは絶対にはずさないください。窓内部の部品がはずれ元に戻せなくなるおそれがあります。

固定ネジ

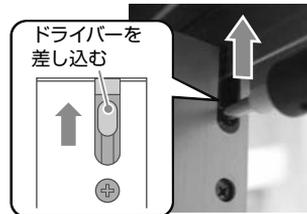


### 2 はずれ止めを上げる

ドライバーをはずれ止めに差し込んで、一番上まで上げます。

お願い

- ドライバーを抜いてもはずれ止めが下がらないように固定ネジのゆるみ具合を調整してください。



### 3 固定ネジをしめ、窓の開閉を確認する

固定ネジを時計回りにまわしてしめ、窓の開閉に支障がないことを確認します。

※窓が動かしにくい場合は、手順1~3を繰り返し、はずれ止めを少しずつ上げてください。

※窓を持ち上げるようにして窓がレールからはずれないことを確認します。



## 掃出しサッシ（床）、高窓、 ランマ引違い窓の取りはずし方



### 第3章

#### ご使用前に確認してください

- 必ず、P.3「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

テラス  
タイプ

#### ⚠注意



[強制]

ガラスの入った窓は重量があります。  
大きな窓の取りはずし、取り付けを行う際は、2人以上で取り扱いには十分  
注意してください。

テラス  
囲い  
タイプ

お  
手  
入  
れ

# 1

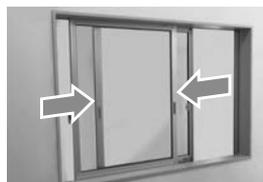
網戸をはずす

→P.70「スライド網戸の取りはずし方」

# 2

左右の窓を中央に寄せる

左右の窓を中央にスライドさせ、行き違わ  
せるようにずらします。



室内側窓

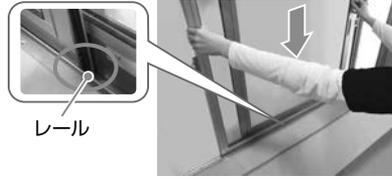
- 3** 窓をレール間に下ろす  
室内側の窓を持ち上げ、一度下のレールとレールの間に下ろします。

**注意**



[強制]

上レールから窓がはずれます。窓をしっかり持って作業してください。



- 4** 枠から窓をはずす  
窓の上部を手前に引いて枠からはずします。



- 5** 窓のはずれ止めを解除する  
→P.52「掃出しサッシ(床)、高窓、ランマ引違い窓のはずれ止めの解除方法」

室外側窓

- 6** 窓を一度外側に出す  
窓を持ち上げ、窓の下部を一度室外側に出します。



- 7** 枠から窓をはずす  
窓を枠の上レールからはずし室内に窓を入れます。



第3章

テラス  
タイプ

テラス  
囲い  
タイプ

お  
手  
入  
れ

## 掃出しサッシ（床）、高窓、ランマ引違い窓の取り付け方



### ご使用前に確認してください

- 必ず、P.3「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

### ⚠注意



[強制]

ガラスの入った窓は重量があります。  
大きな窓の取りはずし、取り付けを行う際は、2人以上で取り扱いには十分注意してください。

1

#### 窓を上側のレールにはめ込む

窓の下部を一度室外側に出し、  
窓の上部を上側のレールにはめ込みます。



2

#### 窓を下側のレールにはめ込む

窓の下部を手前に引いて下のレールにはめ込みます。



3

#### 窓のはずれ止めをセットする

→P.53「掃出しサッシ（床）、高窓、ランマ引違い窓のはずれ止めのセット方法」

## 4 窓をレール間に下ろす

窓の下部を一度下のレールとレールの間に下ろします。

レール



## 5 窓を上レールにはめ込む

窓の上部を上レールにはめ込みます。

お願い

- 窓は下ろさず、そのまま保持してください。続いて窓を下レールにはめ込みます。



## 6 窓を下レールにはめ込む

窓の下部を下レールにはめ込むように下ろします。



## 7 網戸を取り付ける

→P.71「スライド網戸の取り付け方」

## クレセントの調整方法

クレセントをロックしても窓がガタついたり、ロックしにくくなった時には、クレセント本体とクレセント受けの位置が合っていない可能性があります。ここでは、クレセント本体の位置を上下に調整する方法を説明します。

クレセント  
(主錠)



### ご使用前に確認してください

- 必ず、P.3「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

### 第3章

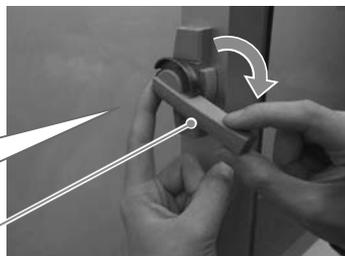
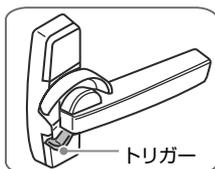
テラス  
タイプ

テラス  
囲い  
タイプ

お手  
入れ

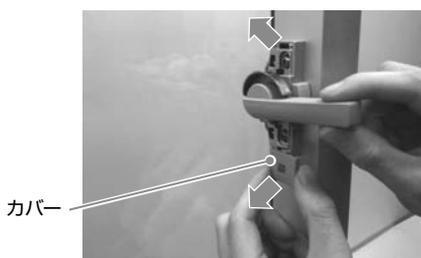
### 1 クレセントのノブをまわす

トリガーを指で押さえながら、クレセントのノブを中央位置までまわします。



### 2 カバーをはずす

カバーをはずし、ネジが見える状態にします。



### 3 ネジをゆるめる

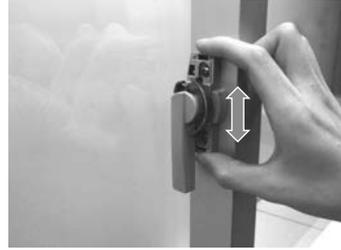
プラスドライバーで上下のネジを反時計回りにまわしてゆるめます。

お願い

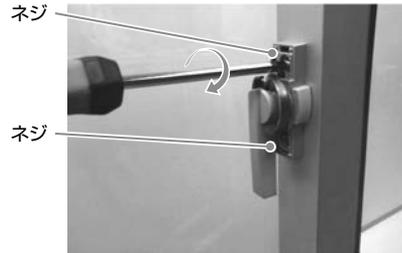
- ネジは絶対にはずさないでください。ネジが紛失したり、部品が落下するおそれがあります。



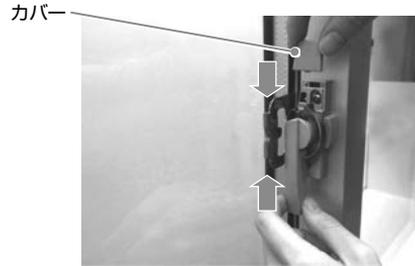
- 4** クレセントの位置を調整する  
クレセントを上下に動かして位置を調整します。



- 5** ネジをしめる  
上下のネジを時計回りにまわしてしめます。



- 6** カバーを取り付ける



## クレセント受けの調整方法

クレセントをロックしても窓ががたついたり、ロックしにくくなったりした時には、クレセント本体とクレセント受けの位置が合っていない可能性があります。ここでは、クレセント受けの位置を左右に調整する方法を説明します。

クレセント受け



### ご使用前に確認してください

- 必ず、P.3「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

### 第3章

テラス  
タイプ

テラス  
囲い  
タイプ

お  
手  
入  
れ

### 1 ネジをゆるめる

プラスドライバーで上下のネジを反時計回りにまわしてゆるめます。

ネジ

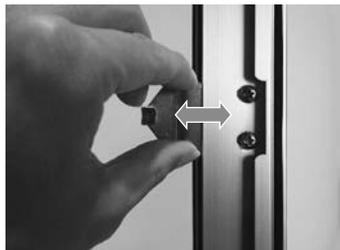
お願い

- ネジは絶対にはずさないでください。ネジが紛失したり、部品が落下したりするおそれがあります。



### 2 クレセント受けの位置を調整する

クレセント受けを左右に動かして位置を調整します。



### 3 ネジをしめる

上下のネジを時計回りにまわしてしめます。

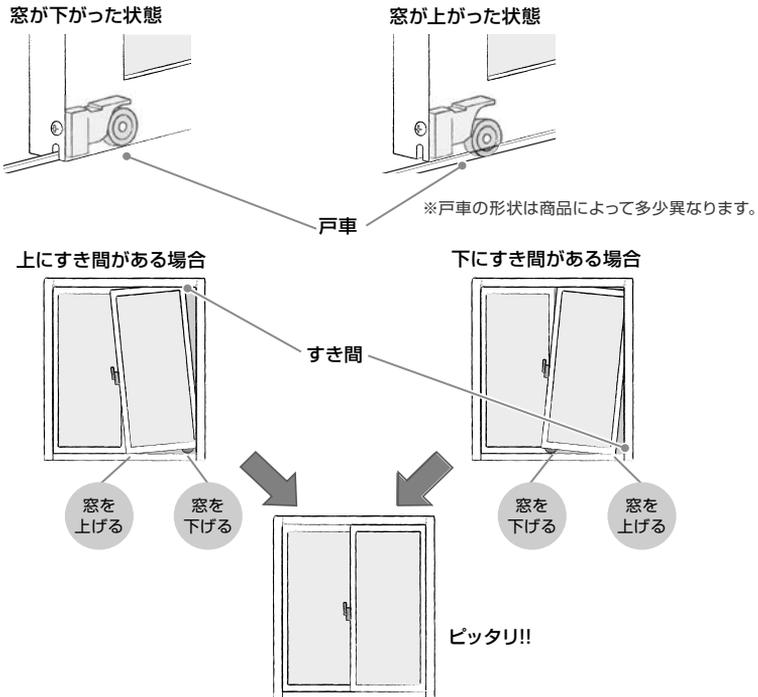


## 掃出しサッシ（床）、高窓、ランマ引違い窓の戸車とは

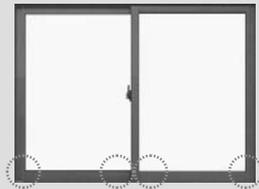
各窓の下両端（内部）にある車輪状の部品で、戸車を調整することで窓の高さが変わり、傾きを調整することができます。窓がピッタリ閉まらないときは、戸車調整を行ってください。

### ご使用前に確認してください

- 必ず、P.3「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。



戸車は、各窓の下両端にあります。



## 掃出しサッシ（床）、高窓、ランマ引違い窓の戸車の調整方法

戸車の調整ネジの位置や形状などは、商品によって異なる場合があります。

ここでは、高窓、ランマ引違い窓タイプを例に説明します。



### 第3章

テラス  
タイプ

テラス  
囲い  
タイプ

お  
手  
入  
れ

高窓、ランマ引違い窓タイプ



戸車調整  
ネジ穴

掃出しサッシ（床）タイプ



## 1 戸車の高さを調整する

プラスドライバーをネジ穴に差し込み、調整ネジをまわして戸車の高さを調整します。

お願い

- ネジは絶対にはずさないでください。窓内部の部品がはずれ元に戻せなくなるおそれがあります。



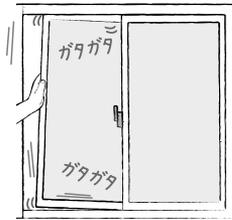
## 下部摺動片<sup>しゅうどうへん</sup>とは

窓の下枠とレール上にある風止板とのすき間を調整する部品です。  
すき間が狭すぎると窓が動かしにくくなり、すき間が広すぎると、室外からすき間風や雨が入ります。  
商品によっては、ゴム製のすき間風防止機能を兼ね備えているタイプもあります。

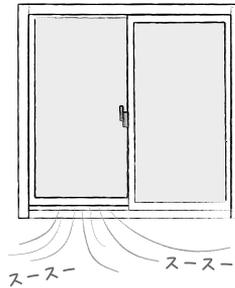
### ご使用前に確認してください

- 必ず、P.3「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

すき間が狭すぎる場合

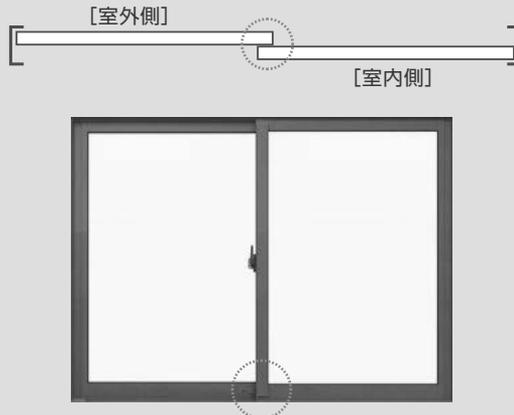


すき間が広すぎる場合



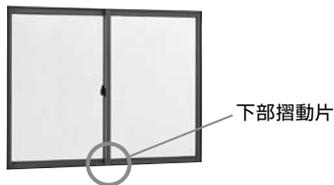
※下部摺動片の形状は商品によって多少異なります。

下部摺動片の調整ネジは、室外側の窓枠（室内側の窓と重なる部分）にあります。



# 下部摺動片の調整方法

下部摺動片の形状や固定ネジの位置などは商品によって異なる場合があります。  
ここでは、高窓、ランマ引違い窓タイプを例に説明します。



## 第3章

テラス  
タイプ

テラス  
囲い  
タイプ

お手  
入れ

高窓、ランマ引違い窓タイプ



掃出しサッシ(床)タイプ



### 1 固定ネジをゆるめる

プラスドライバーで固定ネジを反時計回りにまわしてゆるめます。

お願い

- ネジは絶対にはずさないでください。窓内部の部品がはずれ元に戻せなくなるおそれがあります。



固定ネジ

### 2 下部摺動片の位置を調整する

レール上の風止板とのすき間がなくなるように、下部摺動片の位置を調整します。



### 3 固定ネジをしめる

固定ネジを時計回りにまわしてしめます。



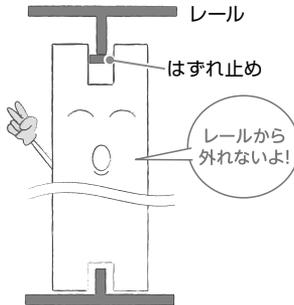
## スライド網戸のはずれ止めとは

はずれ止めは、強風などで網戸が脱落、落下するのを防止するための部品です。  
網戸をはずす時以外は、必ずはずれ止めにセットしてください。

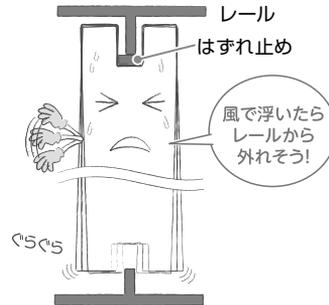
### ご使用前に確認してください

- 必ず、P.3「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

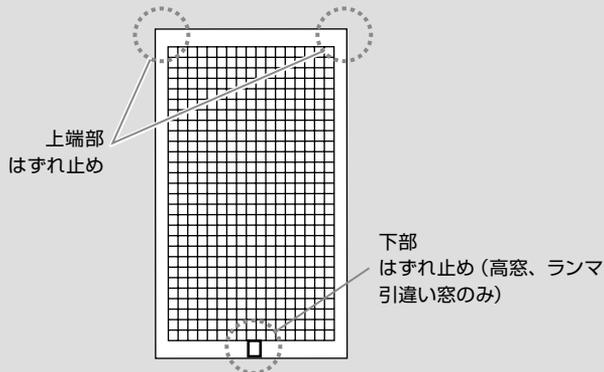
はずれ止めがセットされた状態



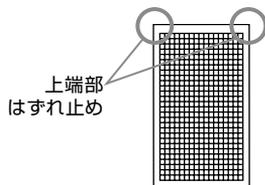
はずれ止めが解除された状態



掃出しサッシ(床)、高窓、ランマ引違い窓の網戸のはずれ止めは、上部両端にあります。また高窓、ランマ引違い窓タイプには下部はずれ止めが付いています。



# スライド網戸のはずれ止めの セット方法

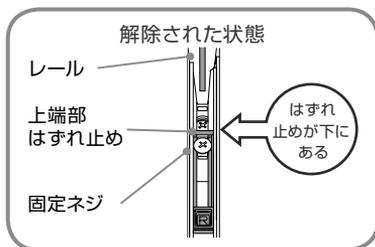
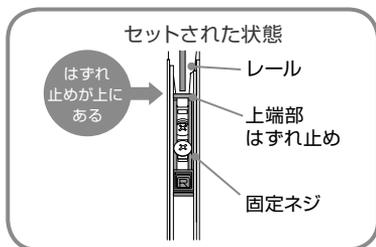


## 第3章

テラス  
タイプ

テラス  
囲い  
タイプ

お手  
入れ

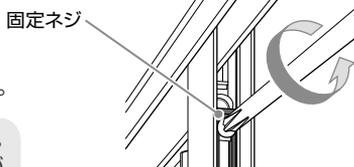


### 1 固定ネジをゆるめる

プラスドライバーで上端部はずれ止めの固定ネジを反時計回りにまわしてゆるめます。

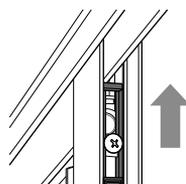
お願い

- ネジは絶対にはずさないでください。部品が窓の内部に落下するおそれがあります。



### 2 上端部はずれ止めを上げる

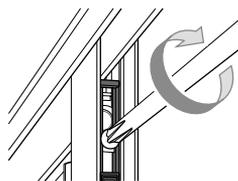
上端部はずれ止めを一番上まで上げます。



### 3 固定ネジをしめる

固定ネジを時計回りにまわし、ゆるまないようにしっかりしめます。

網戸が動かしにくい場合は、手順1～3を繰り返し、上端部はずれ止めを少しずつ下げてください。

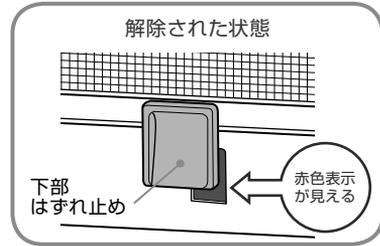
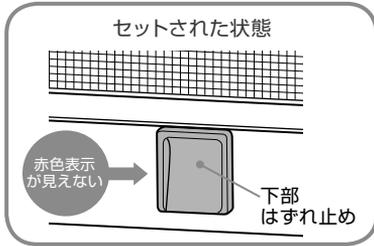
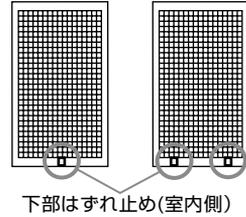


### 4 もう一方の上端部はずれ止めをセットする

手順1～3を行って、もう一方の上端部はずれ止めをセットします。

高窓、ランマ引違い窓タイプのスライド網戸には、室内側に下部はずれ止めが付いています。

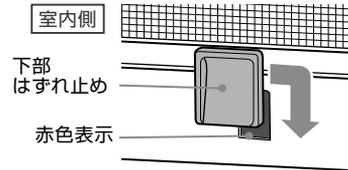
※掃出しサッシ（床）は、手順7を行ってください。



## 5 下部はずれ止めを矢印方向に動かす

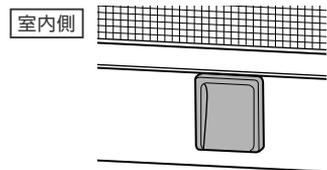
網戸が動かないよう支えながら下部はずれ止めを矢印方向に動かしセットします。

※下部はずれ止めが2つ付いている場合は、もう一方も同様の操作を行ってください。



## 6 赤色表示が見えないことを確認する

※下部はずれ止めが2つ付いている場合は、もう一方も同様に確認してください。



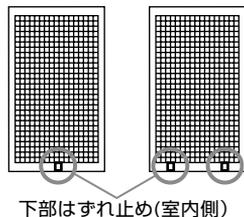
## 7 網戸がはずれないことを確認する

網戸を持ち上げながら内外にゆすり、網戸がレールからはずれないことを確認します。

## スライド網戸のはずれ止めの解除方法

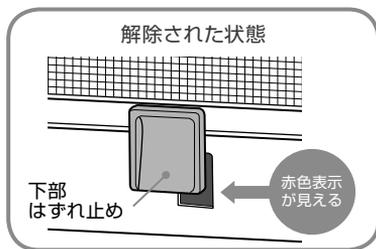
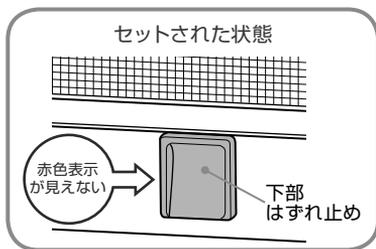
高窓、ランマ引違い窓のスライド網戸には、室内側に下部はずれ止めが付いています。

※掃出しサッシ（床）は、手順2から行ってください。



### 第3章

テラス  
タイプ



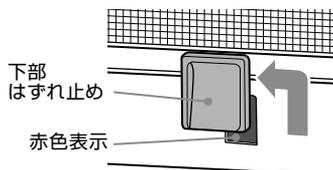
テラス  
囲い  
タイプ

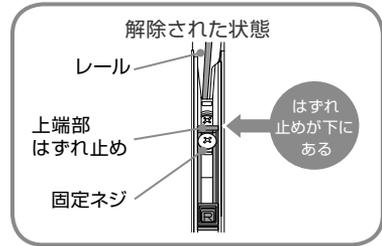
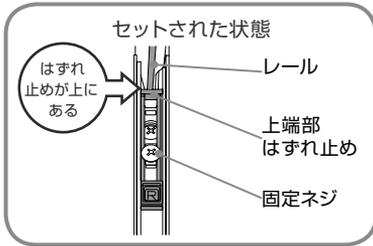
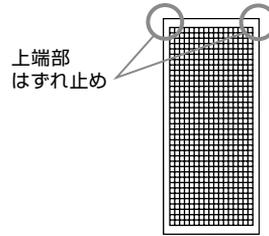
お  
手  
入  
れ

### 1 下部はずれ止めを矢印方向に動かす

網戸が動かないよう支えながら下部はずれ止めを矢印方向に動かし解除します。

※下部はずれ止めが2つ付いている場合は、もう一方も同様の操作を行ってください。





第3章

テラスタイプ

テラス囲いタイプ

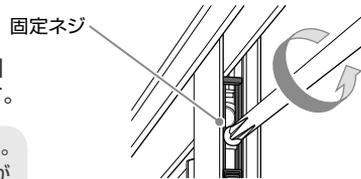
お手入れ

2 固定ネジをゆるめる

プラスドライバーで上端部はずれ止めの固定ネジを反時計回りにまわしてゆるめます。

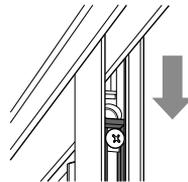
お願い

- ネジは絶対にはずさないでください。部品が窓の内部に落下するおそれがあります。



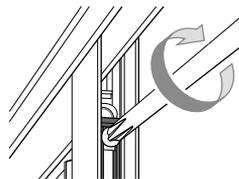
3 上端部はずれ止めを下げる

上端部はずれ止めを一番下まで下げます。



4 固定ネジをしめる

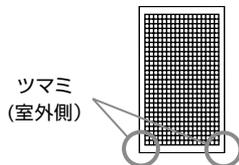
固定ネジを時計回りにまわしてしめます。



5 もう一方の上端部はずれ止めを解除する

手順2~4を行って、もう一方の上端部はずれ止めも解除します。

# スライド網戸の取りはずし方



## ご使用前に確認してください

- 必ず、P.3「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

### 第3章

テラス  
タイプ

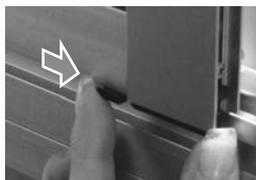
テラス  
囲い  
タイプ

お  
手  
入  
れ

## 1 脱輪防止機構を解除する

室外側にあるツマミを矢印方向に「カチッ」と音がするまでスライドさせます。

※脱輪防止機構が解除されます。



## 2 はずれ止めを解除する

各部のはずれ止めを全て解除します。→P.68

## 3 網戸をはずす

網戸を両手で持ち上げ、網戸を室外側に押し出して下のレールからはずします。



## 4 網戸を取り込む

室内側に網戸を取り込みます。

### ▲注意

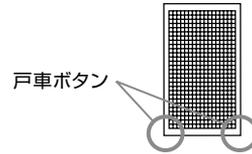


[強制]

網戸の持ち替えや、角度を変える際は、網戸を落とさないように注意してください。



# スライド網戸の取り付け方



## ご使用前に確認してください

- 必ず、P.3「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

### 第3章

## 1 取り付け前の確認をする

取り付け前に各部の状態を確認します。

- ※各部のはずれ止めが全て解除されていることを確認します。→P.68
- ※戸車のローラーが出ていないことを確認します。
- ※下のレールに小石などの異物がないことを確認します。

テラス  
タイプ

## 2 網戸を室外側に出す

網戸を室外側に出します。

### ▲注意



網戸の持ち替えや、角度を変える際は、網戸を落とさないように注意してください。



テラス  
囲い  
タイプ

お  
手  
入  
れ

## 3 網戸を取り付ける

網戸を上レールに合わせて押し上げ手前に引いて下レールにのせます。



## 4 はずれ止めをセットする

各部のはずれ止めを全てセットします。→P.66

## 5 脱輪防止機構をセットする

戸車ボタンを押します。

- ※脱輪防止機構がセットされます



## スライド網戸の戸車とは

網戸の下端（内部）にある車輪状の部品で、戸車を調整することで網戸の高さが変わり、傾きを調整することができます。網戸がピッタリ閉まらないときは、戸車調整を行ってください。

### ご使用前に確認してください

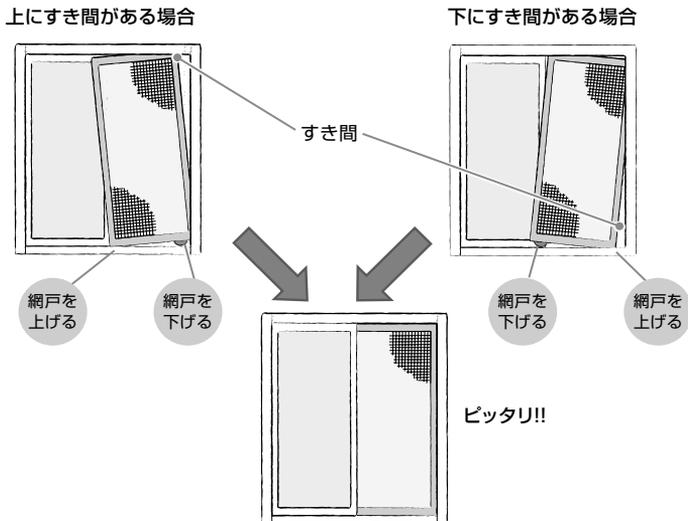
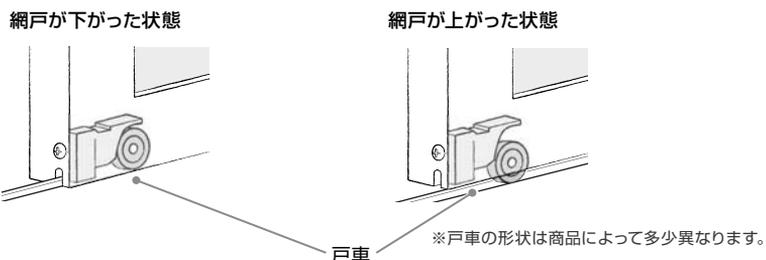
- 必ず、P.3「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

### 第3章

テラス  
タイプ

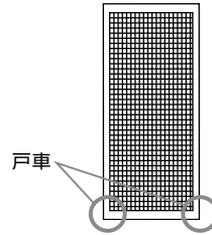
テラス  
囲い  
タイプ

お手  
入れ



## スライド網戸の戸車の調整方法

網戸を閉めてもすき間が開いてしっかり閉まらない場合などは、戸車の高さを調整して網戸の傾きを修正してください。



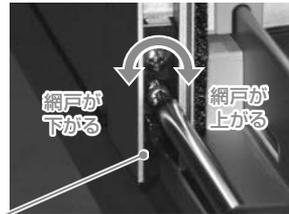
### 1 はずれ止めを解除する

→P.68「スライド網戸のはずれ止めの解除方法」

### 2 調整ネジをまわして戸車を調整する

プラスドライバーで調整ネジをまわして戸車の高さを調整します。

- ・右にまわすと網戸が上がります。
- ・左にまわすと網戸が下がります。



調整ネジ

### 3 はずれ止めをセットする

→P.66「スライド網戸のはずれ止めのセット方法」

### 4 網戸がはずれないことを確認する

網戸を持ち上げながら左右にゆすり、網戸がレールからはずれないことを確認します。

## ドアの錠受けの調整方法

ドアの閉まりが悪くなったり、カギがかかりにくくなった場合は、錠受けの位置を調整してください。



### 第3章

#### ご使用前に確認してください

- 必ず、P.3「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

テラス  
タイプ

### 1 ドアを開ける

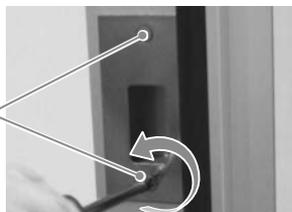
ドアを開け、閉まらないようにドアストッパーなどで固定します。

テラス  
囲い  
タイプ

### 2 調整ネジをゆるめる

プラスドライバーで調整ネジを反時計回りにまわしてゆるめます。

調整ネジ

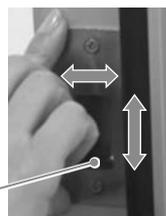


お  
手  
入  
れ

### 3 錠受けを調整する

錠受けを上下左右に動かして位置を調整します。

錠受け



### 4 調整ネジをしめる

調整ネジを時計回りにまわしてしめます。

※ドアの閉まりやカギのかかり具合が悪い場合は、手順1~3を繰り返し、錠受けの位置を調整してください。

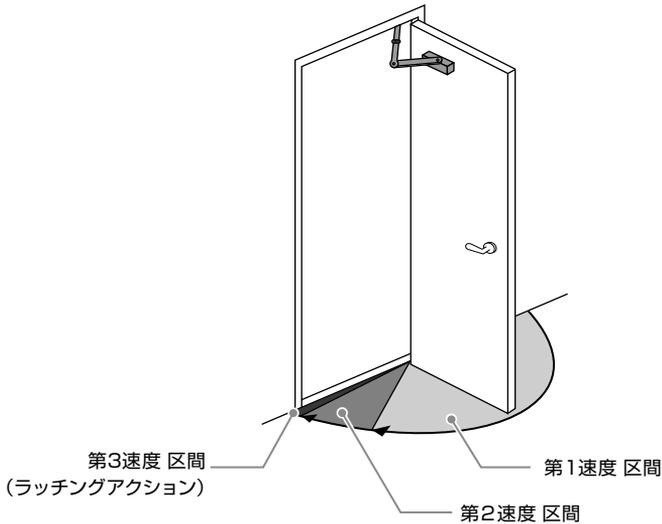


## ドアクローザーとは

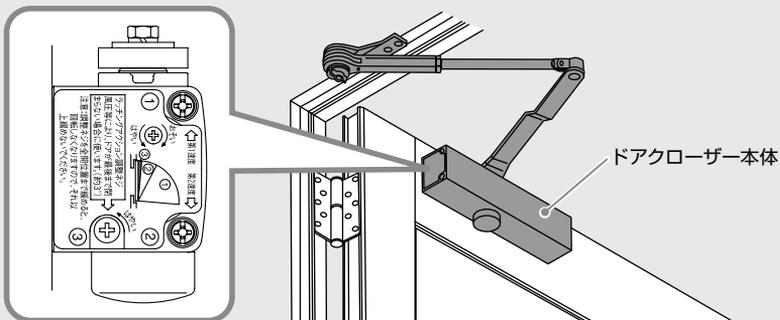
ドアクローザーは、ドアの閉まる速度を制御している部品です。  
 ドアから手を離して自然にしまる時の2つの区間の速度と閉まりきる直前でドアを素早く閉める  
 (ラッチングアクション) 速度を調整できます。

### ご使用前に確認してください

- 必ず、P.3「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。



### ラベル表示



※一部ラベルが貼付されていない商品がありますが、操作方法は同じです。

## ドアの閉まる速度の調整方法

ドアが閉まりにくくなったり、ドアが「ボタン」と大きな音を立てて閉まるようになった時、また、ドアが閉まる速度を変えたい時は、ドアクローザーの閉まる速度を調整してください。ドアクローザーの付いたドアを無理やり開閉しないでください。油もれなど故障の原因となります。



### お願い

ネジは絶対にはずさないでください。ネジが紛失したり、部品が落下したりするおそれがあります。

調整弁(ネジ)をまわしすぎないでください。油もれをおこすおそれがあります。

### 第3章

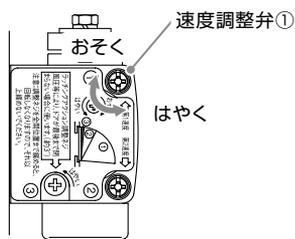
テラス  
囲い  
タイプ

テラス  
囲い  
タイプ

お  
手  
入  
れ

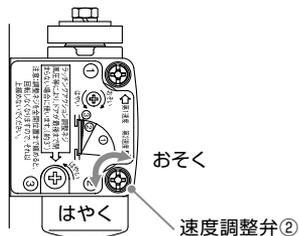
#### 1 第1速度区間の速度を調整する

プラスドライバーで速度調整弁①をまわして、第1速度区間の速度を調整します。



#### 2 第2速度区間の速度を調整する

プラスドライバーで速度調整弁②をまわして、第2速度区間の速度を調整します。



#### 3 第3速度区間の速度を調整する

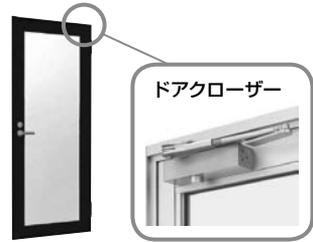
プラスドライバーで速度調整弁③をまわして、第3速度区間の速度を調整します。

※第3速度は、ドアを閉じる機能のため第2速度より遅くすることはできません。



# ドアクローザーの取り付けネジの しめ付け方法

ドアがスムーズに閉まらなくなったり、閉まる時に「バタン」と大きな音がするようになったりした時は、ゆるんだドアクローザーの取り付けネジをしめ付けてください。



## 第3章

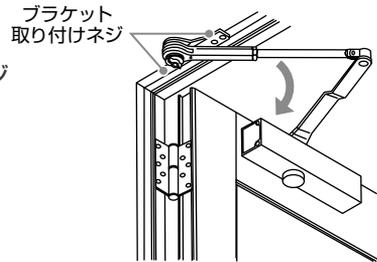
テラス  
タイプ

テラス  
囲い  
タイプ

お  
手  
入  
れ

### 1 ドアを開ける

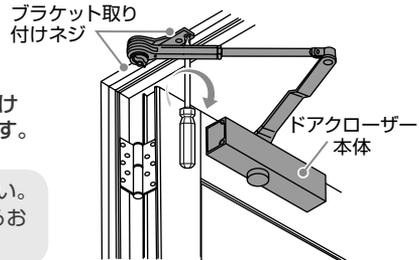
ドアクローザーのブラケット取り付けネジが見える位置までドアを開けてください。



### 2 ブラケット取り付けネジをしめる

プラスドライバーでブラケット取り付けネジを時計回りにまわしてしめつけます。

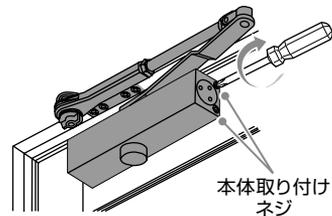
- ネジは絶対にはずさないでください。ネジが紛失したり、部品が落下するおそれがあります。



### 3 本体取り付けネジをしめる

プラスドライバーで本体取り付けネジを時計回りにまわしてしめつけます。

- ネジは絶対にはずさないでください。ネジが紛失したり、部品が落下するおそれがあります。



## 掃出しサッシ（土間）の戸車とは

各掃出しサッシ（土間）の下両端（内部）にある車輪状の部品で、戸車を調整することで掃出しサッシ（土間）の高さが変わり、傾きを調整することができます。掃出しサッシ（土間）がピッタリ閉まらないときは、戸車調整を行ってください。

### ご使用前に確認してください

- 必ず、P.3「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

### 第3章

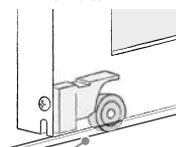
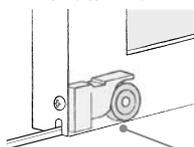
テラス  
タイプ

テラス  
囲い  
タイプ

お  
手  
入  
れ

掃出しサッシ（土間）が下がった状態

掃出しサッシ（土間）が上がった状態

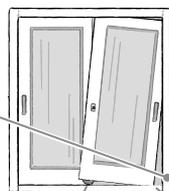
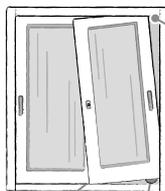


戸車

※戸車の形状は商品によって多少異なります。

上にすき間がある場合

下にすき間がある場合



すき間

掃出しサッシ  
（土間）を  
上げる

掃出しサッシ  
（土間）を  
下げる

掃出しサッシ  
（土間）を  
下げる

掃出しサッシ  
（土間）を  
上げる



ピッタリ!!

戸車は、各掃出しサッシ（土間）の下両端にあります。



## 掃出しサッシ（土間）の戸車の調整方法

掃出しサッシ（土間）を閉めてもすき間が空いてピッタリ閉まらない場合などは、戸車の調整を行って掃出しサッシ（土間）の傾きを直してください。



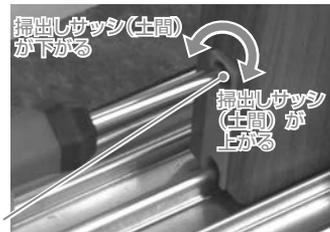
### 1 戸車の高さを調整する

プラスドライバーをネジ穴に差し込み、調整ネジをまわして戸車の高さを調整します。

お願い

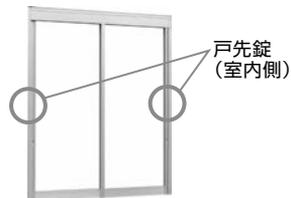
- ネジは絶対にはずさないでください。窓内部の部品がはずれ元に戻せなくなるおそれがあります。

戸車調整穴



## 戸先錠の調整方法

戸先錠をロックしても掃出しサッシ（土間）がガタついたり、ロックしにくくなったりした時は、受け金具の位置を調整してください。



### ご使用前に確認してください

- 必ず、P.3「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

### 第3章

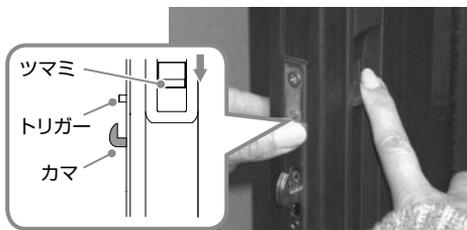
テラス  
タイプ

テラス  
囲い  
タイプ

お  
手  
入  
れ

### 1 掃出しサッシ（土間）を開け戸先錠をロックする

掃出しサッシ（土間）を開け、トリガーを指で押さえながら戸先錠のツマミを下に動かしてロックします。



#### 注意

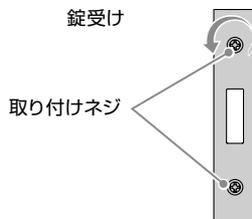
カマが飛び出しますので、指をぶつけないようご注意ください。



[強制]

### 2 錠受けの取り付けネジをゆるめる

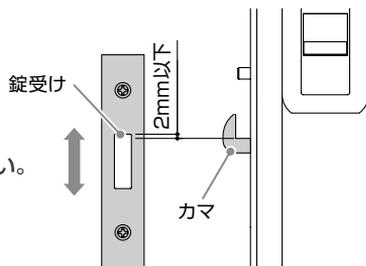
プラスドライバーで枠側にある錠受けの取り付けネジを反時計回りにまわしてゆるめます。



### 3 カマと錠受けの位置を調整する

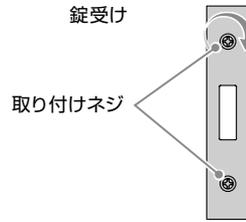
カマの位置を確認しながら、錠受けを上下に動かして位置を調整します。

錠受けの上端とカマの水平位置の間隔が2mm以下になるように調整してください。



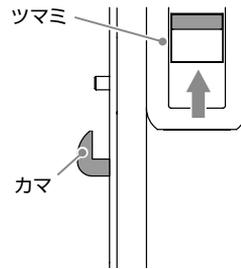
## 4 取り付けネジをしめる

プラスドライバーで錠受けの取り付けネジを時計回りにまわしてしめます。



## 5 戸先錠を解除する

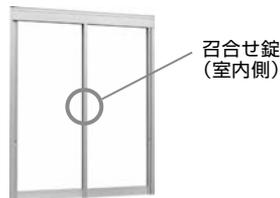
戸先錠のツマミを上動かして解除します。



## 6 戸先錠がかかることを確認する

## 召合せ錠の調整方法

召合せ錠をロックしても掃出しサッシ（土間）がガタついたり、ロックしにくくなったりした時は、サムターンの台座の位置を調整してください。



### 第3章

#### ご使用前に確認してください

- 必ず、P.3「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

テラス  
タイプ

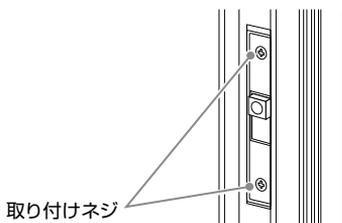
テラス  
囲い  
タイプ

お手  
入れ

### 1 室内側の錠のネジをゆるめる

プラスドライバーで取り付けネジを反時計回りにまわしてゆるめます。

**お願い** ●ネジは取りはずさないでください。



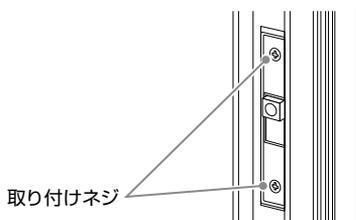
### 2 錠の台座の位置を上下に動かす

※室内側の錠が「開」の状態、蛍光色部分がのぞき窓の中心にくる位置にあわせてください。



### 3 取り付けネジをしめる

プラスドライバーで取り付けネジを反時計回りにまわしてしめます。



# カーテン生地洗濯方法

カーテン生地は、取りはずして洗濯することができます。

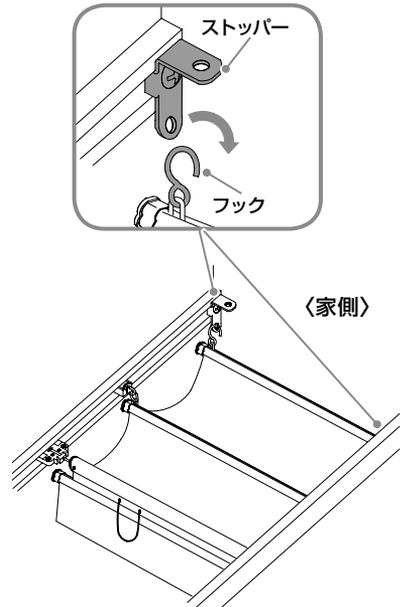
## ご使用前に確認してください

- 必ず、P.3「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

## ■日除けカーテンの取りはずし

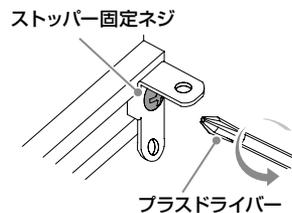
- 日除けカーテンを持ちながらはずしてください。

- 1 ストッパーからフックをはずす  
ストッパーから全てのフックをはずします。



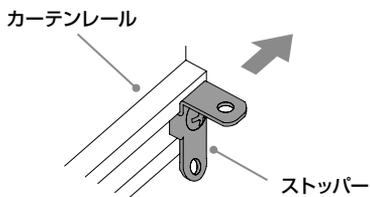
- 2 ストッパー固定ネジをゆるめる  
プラスドライバーで固定ネジを反時計回りにまわしてゆるめます。

- ネジは絶対にはずさないでください。



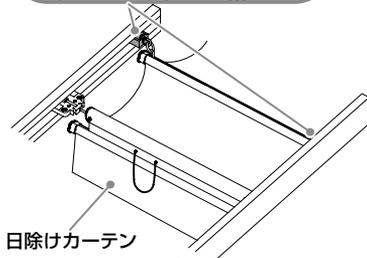
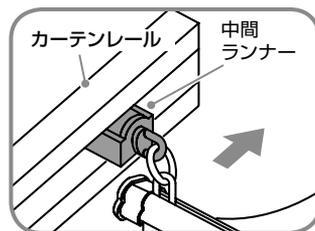
### 3 ストッパーをはずす

全てのストッパーを家側へスライドさせて、カーテンレールからはずします。



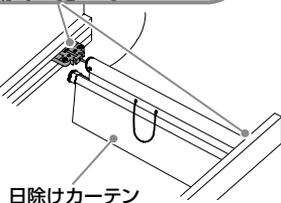
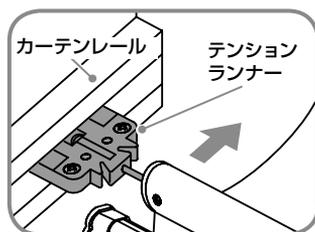
### 4 中間ランナーをはずす

全ての中間ランナーを家側へスライドさせて、カーテンレールからはずします。



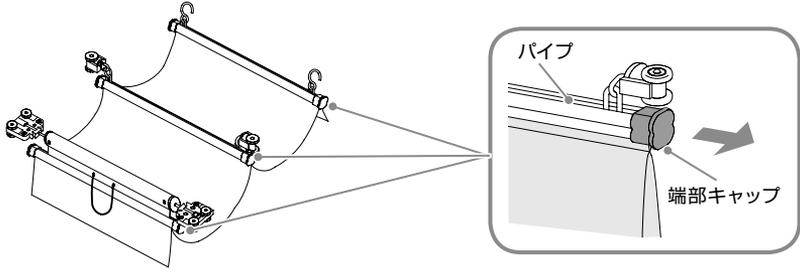
### 5 テンションランナーをはずす

全てのテンションランナーを家側へスライドさせて、カーテンレールからはずします。



## 6 端部キャップを片方のみパイプからはずす

- はずした端部キャップはなくさないように注意してください。

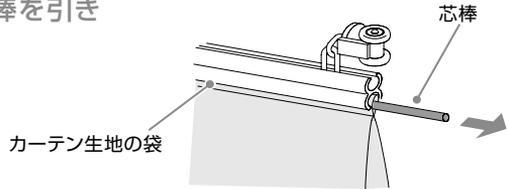


### 第3章

テラス  
タイプ

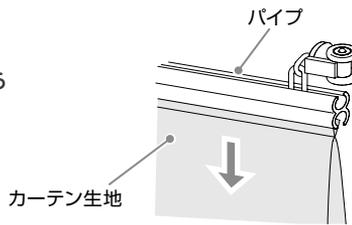
テラス  
囲い  
タイプ

## 7 カーテン生地の袋から芯棒を引き抜く

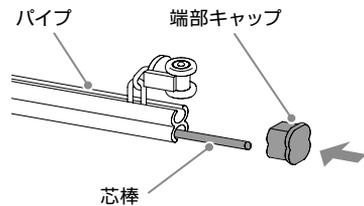


お手入れ

## 8 カーテン生地をはずす カーテン生地を下へ引き、パイプからはずします。



## 9 はずした芯棒・端部キャップをパイプへはめる



## ■カーテン生地洗濯

- 必ずラベルを確認した後、洗濯を行ってください。  
(カーテン生地端部に洗濯絵表示ラベルが貼付してあります)
- カーテン生地の洗濯は、洗濯ネットを使用してください。

### 第3章

テラス  
タイプ

テラス  
囲い  
タイプ

お手  
入れ

## 1 カーテン生地の洗濯絵表示ラベルを確認する

洗濯絵表示ラベル



## 2 カーテン生地を洗濯する

カーテン生地を洗濯ネットに入れて洗濯します。

## 3 カーテン生地を乾燥させる

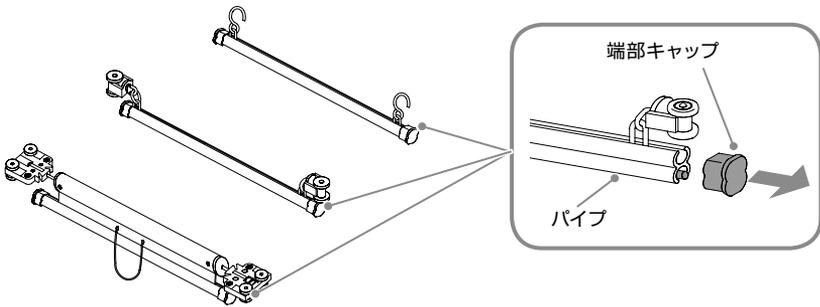
カーテン生地を陰干しで乾燥させます。

## ■日除けカーテンの取り付け

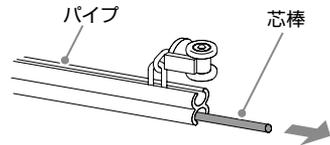
- 洗濯絵表示ラベルが貼り付けてある方を家側にして取り付けてください。

### 1 端部キャップを片方のみパイプからはずす

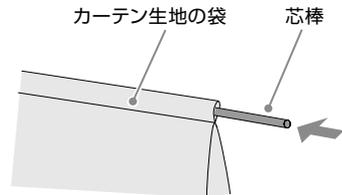
- はずした端部キャップはなくさないように注意してください。



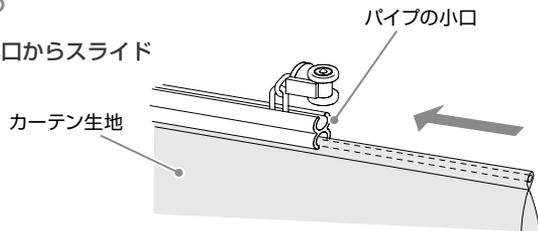
### 2 芯棒をパイプから引き抜く



### 3 カーテン生地の袋に芯棒を入れる

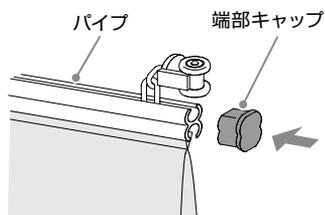


### 4 カーテン生地を入れる カーテン生地をパイプの小口からスライドさせて入れます。



## 5 はずした端部キャップをパイプへはめる

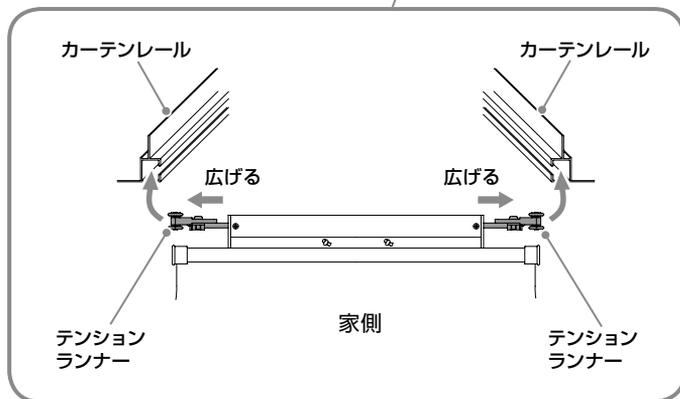
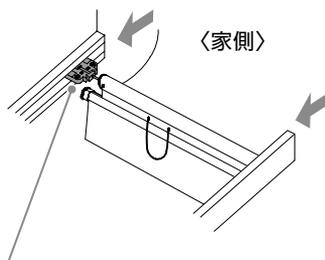
- 端部キャップは奥まで確実に差し込んでください。



## 6 テンションランナーを入れる

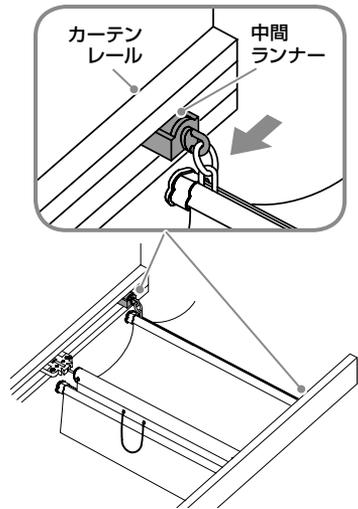
テンションランナーを外側に広げ、家側からカーテンレールにスライドさせて入れます。

- 洗濯絵表示ラベルが貼り付けてある方を家側にしてください。



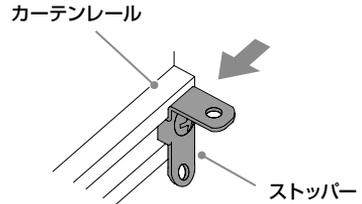
## 7 中間ランナーを入れる

全ての中間ランナーをカーテンレールに  
スライドさせて入れます。



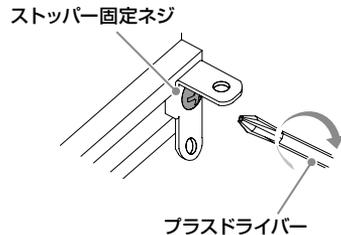
## 8 ストッパーを入れる

全てのストッパーをカーテンレールに  
スライドさせて入れます。



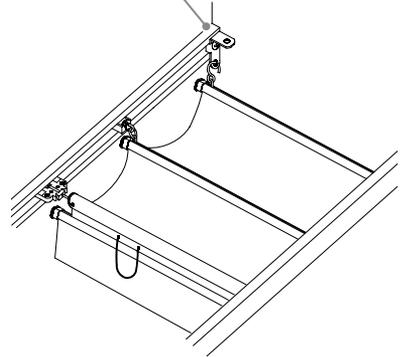
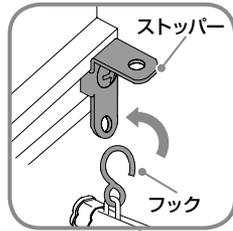
## 9 ストッパー固定ネジをしめる

プラスドライバーで固定ネジを時計回りに  
まわしてしめます。



# 10 フックをストッパーへかける

全てのフックをストッパーにかけます。



## 第4章 困った時には

この章では、商品が正常に動かない時の原因と対処方法について説明しています。

屋根ふき材・雨樋	P.92
掃出しサッシ（床）、高窓、ランマ引違い窓	P.93
スライド網戸	P.95
ドア	P.96
掃出しサッシ（土間）	P.98
日除けカーテン	P.100
アルミ製商品の腐食	P.101

# 屋根ふき材・雨樋

現象・兆候	考えられる原因	対処方法	参照先
雨樋部分から雨水があふれている。	ゴミ、落ち葉などの異物による雨樋のつまり。	清掃してください。	P.48
屋根ふき材が不透明化している。	屋根ふき材の経年劣化。または、有機溶剤を含むガラスクリーナー、殺虫剤の使用、建物の外壁塗装などによる劣化の促進。	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店に修理依頼をしてください。	
屋根ふき材がひび割れている。			
屋根ふき材が割れている。	積雪時の電線や木枝に付着した氷雪の落下。		
	強風時の飛来物。		
屋根ふき材がばたついている。	屋根ふき材押さえの取り付け不良、ネジのゆるみ。		
	タイト材の劣化（寿命による硬化、ひび割れ、断裂など）		
屋根ふき材がはずれた。	商品の性能を超える積雪や強風など		
雨漏りしている。	シーリングの不備や劣化など。		
	地盤の不等沈下などによる、接合部のずれ。		
	屋根ふき材取り付け部、タイト材の経年劣化。		

# 掃出しサッシ（床）、高窓、ランマ引違い窓

現象・兆候	考えられる原因	対処方法	参照先
クレセントがかかりにくい。	クレセント本体とクレセント受けの位置が合っていない。 取り付けネジがゆるんでいる。	クレセント、またはクレセント受けの調整をしてください。	P.58、 P.60
	戸車の高さが合っていない。	戸車調整をしてください。	P.62
	クレセント本体が動かない、またはクレセント受けが曲がっている。	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店に修理依頼をしてください。	
窓の開け閉めがスムーズにできない。	窓のはずれ止めと上枠レールがこすれている。	はずれ止め調整をしてください。	P.51
	下枠レールにゴミやホコリがたまっている。	清掃をしてください。	P.50
	戸車にキズがついたり、すりへったりしている。	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店に修理依頼をしてください。	
	経年劣化により、気密材にねじれ、縮み、ひび割れ、ちぎれが生じている。		
	枠と窓の部品（下部摺動片、気密材）にこすれがある。		
	上枠・下枠レールにキズ、変形がある。		
経年変化により、鴨居が下がって柱が傾いたり、上枠が下がったりして枠全体が傾いている。			
窓をロックした状態で窓がガタガタする。	クレセント本体とクレセント受けの位置が合っていない。	クレセント、またはクレセント受けの調整をしてください。	P.58、 P.60
	戸車にキズがついたり、すりへったりしている。	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店に修理依頼をしてください。	
	クレセント本体が動かない、またはクレセント受けが曲がっている。		
	経年劣化により、下部摺動片、気密材、戸当り（開閉時に窓が当たる枠）などが破損している。		
窓をロックした状態で窓と枠にすき間がある。	戸車の高さが合っていない。	戸車調整をしてください。	P.62
	クレセント本体とクレセント受けの位置が合っていない。	クレセント、またはクレセント受けの調整をしてください。	P.58、 P.60
	経年変化により、鴨居が下がって柱が傾いたり、上枠が下がったりして枠全体が傾いている。	お取り扱いの建築会社、工務店、または販売店に修理依頼をしてください。	

現象・兆候	考えられる原因	対処方法	参照先
窓をロックした状態ですき間風、ホコリなどが入る。	戸車の高さが合っていない。	戸車調整をしてください。	P.62
	クレセント本体とクレセント受けの位置が合っていない。	クレセント、またはクレセント受けの調整をしてください。	P.58、P.60
	経年劣化により、気密材にねじれ、縮み、ひび割れ、ちぎれが生じている。	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店に修理依頼をしてください。	
	ネジ穴キャップがはずれている箇所がある。		
	経年変化により、鴨居が下がって柱が傾いたり、上枠が下がったりして枠全体が傾いている。		
窓の開閉時に異音がある。	下枠レールにゴミやホコリがたまっている。	清掃をしてください。	P.50
	窓のはずれ止めと上枠レールがこすれている。	はずれ止め調整をしてください。	P.51
	戸車にキズがついたり、すりへったりしている。	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店に修理依頼をしてください。	
	上枠・下枠レールにキズ、変形がある。		
	水密性能・気密性能を満たすために、枠と窓のすき間に気密部品が必要。気密部品と窓が接触する構造になっている。	サッシの不具合によるものではありません。	
		経年変化により、鴨居が下がって柱が傾いたり、上枠が下がったりして枠全体が傾いている。	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店に修理依頼をしてください。
下枠レール部分に雨水がたまり下枠からあふれるおそれがある。	水密性能を保持するために、商品が下枠に水をためる構造になっている。	サッシの不具合によるものではありません。	
	下枠レールにゴミがついている。	清掃をしてください。	P.50
	経年劣化により、気密材にねじれ、縮み、ひび割れ、ちぎれが生じている。	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店に修理依頼をしてください。	
窓をロックした状態で下枠部分から水しぶきが入る。	戸車の高さが合っていない。	戸車調整をしてください。	P.62
	クレセント本体とクレセント受けの位置が合っていない。	クレセントまたは、クレセント受けの調整をしてください。	P.58、P.60
	経年劣化により、気密材にねじれ、縮み、ひび割れ、ちぎれが生じている。	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店に修理依頼をしてください。	

# スライド網戸

現象・兆候	考えられる原因	対処方法	参照先
網戸の開け閉めがスムーズにできない。	はずれ止めの位置調整が合っていない。	はずれ止め調整をしてください。	P.65
	戸車がレールに乗っていないなど、網戸が正常に取り付けられていない。	網戸を一度はずして、取り付け直ししてください。	P.70
	下枠レールにゴミやホコリがたまっている。	清掃をしてください。	P.50
	網戸のすき間ふさぎ材と窓とのこすれが強すぎる。	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店に修理依頼をしてください。	
	網戸が反っている。		
	上枠・下枠レールにキズ、変形がある。		
経年変化により、鴨居が下がって柱が傾いたり、上枠が下がったりして枠全体が傾いている。			
網戸がはずれる、または落下する。	はずれ止めの位置が合っていない。	はずれ止め調整をしてください。	P.65
	はずれ止めが破損している。	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店に修理依頼をしてください。	
網戸の開閉時に異音がある。	戸車がレールに乗っていないなど網戸が正常に取り付けられていない。	網戸を一度はずして、取り付け直ししてください。	P.70
	下枠レールにゴミやホコリがたまっている。	清掃をしてください。	P.50
	戸車にキズがついたり、すりへっている。	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店に修理依頼をしてください。	
	網戸のすき間ふさぎ材が経年劣化により、ねじれたり、ひび割れたり、ちぎれたりしている。		
上枠・下枠レールにキズ、変形がある。			
窓を開け閉めすると網戸が一緒に動く。	網戸の反りで、網戸のすき間ふさぎ材と窓とのこすれが強すぎる。		

# ドア

現象・兆候	考えられる原因	対処方法	参照先
ドアを閉じた状態でドアがガタガタする。	錠と錠受けの位置が合っていない。	錠受けを調整してください。	P.74
ドアを開け閉めすると、ドアがグラグラする。	丁番取り付けネジがゆるんでいる。	枠側、ドア側ともに丁番取り付けネジをしめつけるとともに、併せて錠受けを調整してください。	P.74
ドアを開け閉めすると、ドアが枠にこすれる、または当たる。	丁番取り付けネジがゆるんでいる。	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店に修理依頼をしてください。	
ドアの開閉ができなくなった。	地震・地盤沈下などにより建物が傾いている。		
	丁番が破損している。 錠が破損している。 ハンドルの内部機構が破損している。		
ドアを開け閉めすると、きしみ音などの異音がある。	ドアクローザー取り付けネジがゆるんでいる。	取り付けネジをしめつけてください。	P.77
	ドアクローザーから油が漏れている。	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店に修理依頼をしてください。	
	丁番・ピボットヒンジの軸部品部分が経年劣化によりすりへっている。		
ドアがスムーズに閉まらなくなった。	ドアクローザーの取り付けネジがゆるんでいる。	取り付けネジをしめつけてください。	P.77
	第1速度区間、第2速度区間の速度が合っていない。	速度調整弁（ネジ）で速度を調整してください。	P.76
ドアの閉じる速度が徐々に速く、または遅くなった。	季節による温度変化など。	速度調整弁（ネジ）で速度を調整してください。	P.76
ドアの閉じる速度が急に速くなった。	ドアクローザーから油が漏れている。	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店に修理依頼をしてください。	
ドアの閉じる速度が急に遅くなった。	ドアクローザーの油の流れがつかまっている。	速度調整弁（ネジ）で速度を調整してください。	P.76
	ドアクローザーの取り付けネジがゆるんでいる。	取り付けネジをしめつけてください。	P.77
	ドアクローザーから油が漏れている。	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店に修理依頼をしてください。	
閉じる際に「バタン」と大きな音がある。	ドアクローザーのラッチング機能が強すぎる。	第3速度調整弁（ネジ）を調整してください。	P.76
	ドア開閉時のストップ位置が違う。	ストップ装置のネジがゆるんでいる。	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店に修理依頼をしてください。

現象・兆候	考えられる原因	対処方法	参照先
カギの差し込みがスムーズにできない、または差し込んでスムーズに操作できない。	合カギが正規のカギと一致していない。	正規のカギを使用してください。	
	カギ穴内部が凍結している。(冬季)	市販の凍結防止剤・解氷材(スプレー式)を吹きかけてください。ただし、お湯は絶対にかけないでください。再凍結や腐食のおそれがあります。	
	カギ穴内部に汚れ、ホコリがついている。	カギ、カギ穴の清掃をしてください。それでも操作できない場合は、カギの内部機構の腐食、故障などが考えられますので、お取り扱いの建築会社、工務店、販売店に修理依頼をしてください。	P.46
	カギが変形している。	お取り扱いの建築会社、工務店、または販売店に新しく正規のカギを手配してください。	
錠がかかりにくくなった、またはかからない。	ラッチボルト、デットボルトと錠受け・ラッチ受けの位置が合っていない。	錠受け・ラッチ受けを調整してください。	P.74
	丁番取り付けネジがゆるんでいる。	枠側、ドア側ともに丁番取り付けネジをしめつけるとともに、併せて錠受けを調整してください。	P.74
	地震・地盤沈下などにより建物が傾いている。	お取り扱いの建築会社、工務店、または販売店に修理依頼をしてください。	

# 掃出しサッシ（土間）

現象・兆候	考えられる原因	対処方法	参照先
錠がかかりにくくなった、またはかからない。	錠と錠受けの位置が合っていない。	錠と錠受けを調整してください。	P.80、 P.82
	掃出しサッシ（土間）の左右の高さが合っていない。	戸車を調整してください。	P.79
	錠が破損している。	商品をお求めの建築会社、工務店、販売店に修理依頼をしてください。	
カギの差し込みがスムーズにできない、または差し込んでスムーズに操作できない。	合カギが正規のカギと一致していない。	正規のカギを使用してください。	
	カギ穴内部が凍結している。（冬季）	市販の凍結防止剤・解氷材（スプレー式）を吹きかけてください。ただし、お湯は絶対にかけないでください。再凍結や腐食のおそれがあります。	
	カギ穴内部に汚れ、ホコリがついている。	カギ、カギ穴の清掃をしてください。それでも操作できない場合は、カギの内部機構の腐食、故障などが考えられますので、お取り扱いの建築会社、工務店、販売店に修理依頼をしてください。	P.46
	掃出しサッシ（土間）の左右の高さが合っていない。	戸車を調整してください。	P.79
	カギが変形している。	お取り扱いの建築会社、工務店、または販売店に新しく正規のカギを手配してください。	
掃出しサッシ（土間）をスムーズに開け閉めできない。	戸車がレールに乗っていないなど、掃出しサッシ（土間）が正常に取り付けられていない。	掃出しサッシ（土間）を一度取りはずして、取り付け直してください。	
	下枠レールにゴミやホコリがたまっている。	清掃をしてください。	P.50
	戸車にキズがついたり、すりへったりしている。	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店に修理依頼をしてください。	
	下部摺動片（かぶしゅうどうへん）にキズがついたり、すりへったりしている。		
	上枠・下枠レールにキズ、変形がある。		
	経年変化により、柱が傾いたり、上枠が下がったりして、枠全体が傾いている。		

現象・兆候	考えられる原因	対処方法	参照先
掃出しサッシ（土間）を閉じた状態で枠と掃出しサッシ（土間）の間にすき間がある。	錠と錠受けの位置が合っていない。	錠と錠受けを調整してください。	P.80、 P.82
	掃出しサッシ（土間）の左右の高さが合っていない。	戸車を調整してください。	P.79
	経年変化により、柱が傾いたり、上枠が下がったりして、枠全体が傾いている。	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店に修理依頼をしてください。	
掃出しサッシ（土間）を開け閉めすると、異音が生じる。	戸車がレールに乗っていないなど、掃出しサッシ（土間）が正常に取り付けられていない。	掃出しサッシ（土間）を一度取りはずして、取り付け直してください。	
	下枠レールにゴミやホコリがたまっている。	清掃をしてください。	P.50
	戸車にキズがついたり、すりへったりしている。	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店に修理依頼をしてください。	
	下部摺動片（かぶしゅうどうへん）にキズがついたり、すりへったりしている。		
上枠・下枠レールにキズ、変形がある。			

# 日除けカーテン

現象・兆候	考えられる原因	対処方法	参照先
生地の色あせや傷みが目立っている。	経年劣化している。	生地を取り替えてください。 お取り扱いの建築会社、工務店、販売店または当社に購入依頼をしてください。	
開閉時の動きが悪くなっている。	テンションランナーや中間ランナーが磨耗している。	部品を取り替えてください。 お取り扱いの建築会社、工務店、販売店または当社に購入依頼をしてください。	

# アルミ製商品の腐食

現象・兆候	考えられる原因	対処方法	参照先
アルミ商品表面などにつぶ状の汚れがついている。	商品にゴミなどがついている。	清掃をしてください。	P.43
	ハウスクリーニング時に中性洗剤以外の洗剤により洗浄が行われた、またはその洗剤がついて商品が腐食した。	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店に修理依頼をしてください。	
	ドア・枠まわりの外壁、土間などに塩分の多い海砂の混入した材料が使用されていたため、商品が腐食した。		
	ドア・枠まわりの外壁、土間などに使用された材料や溶剤が原因で、商品が腐食した。		
	交通量の多い道路沿いのため排気ガスにより商品が腐食した。		
	ガス給湯器の排気ガスにより商品が腐食した。		
	海岸地帯のため、空気中に含まれる塩分がついて商品が腐食した。		
工業地帯のため、大気中に含まれる腐食を誘発する成分がついて商品が腐食した。			



# 第5章 保守点検

この章では、こまめに点検していただきたい点について説明しています。

お手入れ・点検のポイント .....	P.104
保守点検項目 .....	P.106

# お手入れ・点検のポイント

## お使いの商品を「より快適に」「より長く」

■日頃からこまめなおそうじ 表面に付着した汚れは、しみ、腐食やさびの原因となります。  
商品の掃除はこまめに行いましょう！

### <経年別 お手入れ・点検の目安>

ご使用の条件や環境によっても違ってきます。お手入れ・点検の目安にしてください。  
お手入れ・調整については、本書をご確認ください。

部位	経年	日頃のお手入れ・点検	5年目	
			【性能を保持するために】	
掃出しサッシ（土間）、 掃出しサッシ（床）、 高窓、ランマ引違い窓		● 下枠レールの清掃を行いましょう クレセント(戸先錠、召合せ錠)の しまりを確認しまししょう	●	戸車（建付）調整
網戸		● 下枠レールの清掃を行いましょう (※)脱落・落下防止のために、はずれ 止めを確認しまししょう	●	網戸張替え推奨 (網の劣化)
ドア		● (※)ドアクローザーの開閉速度を確認し お好みの速度に調整しまししょう		
デッキ材		● ひび、割れなどがながい確認しまししょう		
屋根ふき材		● ひび、割れ、はずれなどがながい確認 しまししょう		

↓↓↓↓↓ 定期的なお手入れ・点検について

定期お手入れ・点検メニュー	スタンダード点検
点検時期（目安）	築5～7年
点検サービス内容	部品確認、調整

## ご使用いただくための、お手入れ・点検のポイント

- **定期的なお手入れ・点検** 長期間使用していると、いろいろな不具合が発生します。  
定期的にお手入れ・点検を行いましょ！

S セルフチェック  
★ お取り扱いの建築会社、工務店、販売店または当社へご相談ください。

**(※) は、物損、人身事故を防止するため必ず点検をお願いします。**

定期的なお手入れ・点検		
7年目	10年目	13年目以上
【安全配慮・性能を保持するために】		
★ (※) 戸車交換推奨 (よく使用する窓)	★ (※) 戸車交換時期	
S 網戸張替え推奨 (網の劣化)		
S 錠操作確認	★ 錠交換推奨	
	★ 点検推奨	
	★ 点検推奨	

ご自身で実施できない場合は、当社にご相談ください。↓↓↓↓↓

	フル点検
	築10年以上
(使用頻度の商品)	部品確認、調整 (全商品)

# 保守点検項目

長期間、商品を使用していると、いろいろな不具合が発生します。

そのまま使い続けると、人身事故や家財の損害などの原因になるため、お掃除の際など、日常的に保守点検を行ってください。

下記は、点検していただきたい項目です。

点検項目	商品	点検箇所	参照先
商品に異常がないか？ (雪が降る前に点検)	テラス テラス囲い	商品全般	P.18「テラスタイプ」 P.20「テラス囲いタイプ」
屋根ふき材がはずれていないか？		屋根ふき材	
屋根ふき材が破損していないか？		屋根ふき材	
商品に付いている端部キャップが はずれていないか？		各部の端部キャップ	
アルミ部分が腐食していないか？	全般	アルミ部分	P.101「アルミ製商品の腐食」
ネジがゆるんでいないか？	掃出しサッシ(床)、 高窓、ランマ引違い窓	はずれ止め(上部・下部)ネジ	P.51「掃出しサッシ(床)、高窓、ランマ引違い窓のはずれ止めとは」
		クレセントネジ	P.58「クレセントの調整方法」
		クレセント受けネジ	P.60「クレセント受けの調整方法」
		戸車調整ネジ	P.62「掃出しサッシ(床)、高窓、ランマ引違い窓の戸車の調整方法」
		下部摺動片調整ネジ	P.64「下部摺動片の調整方法」
	スライド網戸	はずれ止め(上部)ネジ	P.65「スライド網戸のはずれ止めとは」
		戸車調整ネジ	P.73「スライド網戸の戸車の調整方法」
	ドア	錠受け調整ネジ	P.74「ドアの錠受けの調整方法」
		ドアクローザー取り付けネジ	P.77「ドアクローザーの取り付けネジのしめ付け方法」
	掃出しサッシ(土間)	戸車調整ネジ	P.79「掃出しサッシ(土間)の戸車の調整方法」
		召合せ錠・錠受け取り付けネジ	P.82「召合せ錠の調整方法」
		戸先錠・錠受け取り付けネジ	P.80「戸先錠の調整方法」

点検項目	商品	点検箇所	参照先
室内側から見て赤色の部品が見えていないか？	スライド網戸	下部はずれ止め	P.66「スライド網戸のはずれ止めのセット方法」
部品が磨耗していないか？	日除けカーテン	テンションランナー 中間ランナー	
カーテン生地が傷んでいないか？	日除けカーテン	カーテン生地	
アルミ部分が腐食していないか？	日除けカーテン	カーテンレール	P.101「アルミ製商品の腐食」

※点検で不具合が見つかり、参照先を確認しても問題が解決しない場合は、お取り扱いの建築会社、工務店、販売店にお問合せください。



# 第6章 保証について

この章では、商品の保証について説明しています。

商品の保証について .....	P.110
ガラスの保証について .....	P.111

# 商品の保証について

本書は、当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障・損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、まず商品をお求めの建築会社、工務店、販売店に修理をご依頼ください。

## ■対象商品

ソレイド テラスタイプ、ソレイド テラス囲いタイプ

## ■保証期間

建築会社よりの引き渡し日(注)から起算して2年間(電装部品については1年間)。

ただし、施工を伴わない商品については、お客様がご購入された日から1年間。

(注)商品の引き渡し日とは、新築注文住宅の場合はお客様への住宅引き渡し日とし、新築分譲住宅の場合は建築主様への住宅引き渡し日とします。新築以外の住宅については、商品の施工完了日とします。

## ■保証内容

取扱説明書、本体ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。

## ■免責事項

保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。

- ① 当社の手配によらない第三者の加工、組立、施工(基礎工事、取付工事、シーリング工事など)、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合  
(例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色、腐食など)
- ② 表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
- ③ 建築躯体の変形など商品以外に起因する商品の不具合
- ④ 商品または部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩耗など)や経年劣化(樹脂部品の変質、変色など)またはこれらに伴うさび、かびまたはその他の不具合
- ⑤ 商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食またはその他の不具合  
(例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガス、ガス給湯器の排ガスなどが付着して起こる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など)
- ⑥ 商品または部品の材料特性に伴う現象(例えば、木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど)
- ⑦ 天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災、津波、噴火など)による不具合またはこれらによって、商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
- ⑧ 実用化されている技術では予測することが不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合
- ⑨ 犬、猫、鳥、鼠などの小動物またはつるや根などの植物に起因する不具合・キクイムシなどによる虫害による不具合
- ⑩ 引き渡し後の操作誤り、調整不備または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
- ⑪ お客様自身の組立、取付、修理、改造(必要部品の取外しを含む)に起因する不具合
- ⑫ 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- ⑬ 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

\* 保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。

\* 本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社にお問い合わせください。

\* この商品保証は、日本国内においてのみ適用されるものとして、日本国外に納入される商品については適用しないものとします。

# ガラスの保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において商品保証を行うことをお約束するものです。建築会社よりの引き渡し日〈注〉を保証開始日とした保証期間中に保証性能項目に関する不具合が生じた場合には、まず、お取り扱いの建築会社、工務店、販売店にご相談ください。

〈注〉改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。分譲住宅（建売住宅）の場合は建築主様への引き渡し日になります。

## ●ガラス商品共通の免責事項

保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。

- (1) 当社標準施工法および取り扱い上、設計上、施工上、使用上、メンテナンス上の注意事項が守られなかったことに起因する不具合
- (2) 使用上の誤りおよび不当な改造や修理など、人為的原因に起因する不具合  
(ガラス表面にフィルムやポスター等を貼ることや、塗料を塗ることなどを含みます)
- (3) 火災、地震、風水害、その他天変地異に起因する不具合
- (4) 事前のお打ち合わせで商品保証の対象外であることをご了承頂いている場合
- (5) 実用化された技術では予測困難な現象に起因する不具合
- (6) 熱割れなどのガラスの破損
- (7) 板硝子協会・(一社)日本サッシ協会発行『複層ガラス・単板ガラスサッシの取合いに関する仕様基準と解説』に準拠されていなかった場合

## ●保証内容

保証性能項目に関する不具合が発生した場合には、免責事項に該当する場合を除き、代替品（不具合が生じた当社製ガラスが仕様変更・販売終了している場合には同等品種または近似品種）を無料交換致します。

- \* お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社お客様相談室にお問い合わせください。
- \* この商品保証は日本国内においてのみ適用されるものとし、日本国外に納品される商品については、適用しないものとします。

修理依頼のご連絡にあたっては、次のことをお知らせください。

- (1) 商品名
- (2) 商品記号（商品に貼付している社名ラベルでご確認ください。）
- (3) お引き渡し日（お引き渡し日が不明の場合は、竣工日またはご入居日）
- (4) 工務店、建築会社名など
- (5) 破損箇所や不具合状態

# 保証書

商品名	
お引渡し日	年 月 日
<b>お客様</b>	
お名前	
ご住所	〒 -
お電話	

保証期間	
対象部品	期 間
本 体	2ケ年
電装部品 木製部品	1ケ年

※ お引渡し日、お客様名、施工店名が不明の場合は、保証しかねますので施工店に必要事項を記入していただいでください。  
また、本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

建築会社、工務店、販売店	
店 名	
住 所	〒 -
電 話	

長期間、商品をご使用になりますと、ネジのゆるみ、ガタつきなどの不具合が発生することがあります。

そのまましておきますと人身事故や、家財の損害などの原因になります。対処方法が本説明書に掲載されていない不具合が発生した場合は、ご自分で修理せず、まずお取り扱いの建築会社、工務店、販売店、または当社支店・営業所にご相談ください。

■ 修理依頼のご連絡にあたっては、次のことをお知らせください。

- 建築会社、工務店、販売店の名前
- 建築会社、工務店、販売店の住所
- お客様のお電話番号
- 商品名
- 商品記号
- お引渡し日
- 破損箇所や不具合状態



# 株式会社 大仙

- 表示内容は 2019 年 2 月現在のものです。
- 製品の改良・改善のため、仕様は予告なく変更する場合があります。

ホームページ <https://daisen-exterior.jp>

事業本部／ 新城工場	〒441-1317	愛知県新城市有海字高田1-1	TEL 0536-24-2300
本社	〒440-8521	愛知県豊橋市下地町字柳目8	TEL 0532-54-6527 (代)
札幌支店	〒063-0846	北海道札幌市西区八軒6条西4-2-4	TEL 011-612-6433
仙台支店	〒981-1106	宮城県仙台市太白区柳生6-1-8	TEL 022-306-3421
関東支社	〒343-0002	埼玉県越谷市平方1898	TEL 048-970-1133
名古屋支社	〒462-0063	愛知県名古屋市中区丸新町40	TEL 052-902-1851
関西支社	〒567-0059	大阪府茨木市清水1-16-35	TEL 072-643-1821
九州支社	〒816-0922	福岡県大野城市山田2-1-1	TEL 092-501-6414